潛虛述義

潛虛解

附發微論

附錄考異

叢書集成

初編

主編者
王雲五

商務印書館發行

潛虛

附發微論

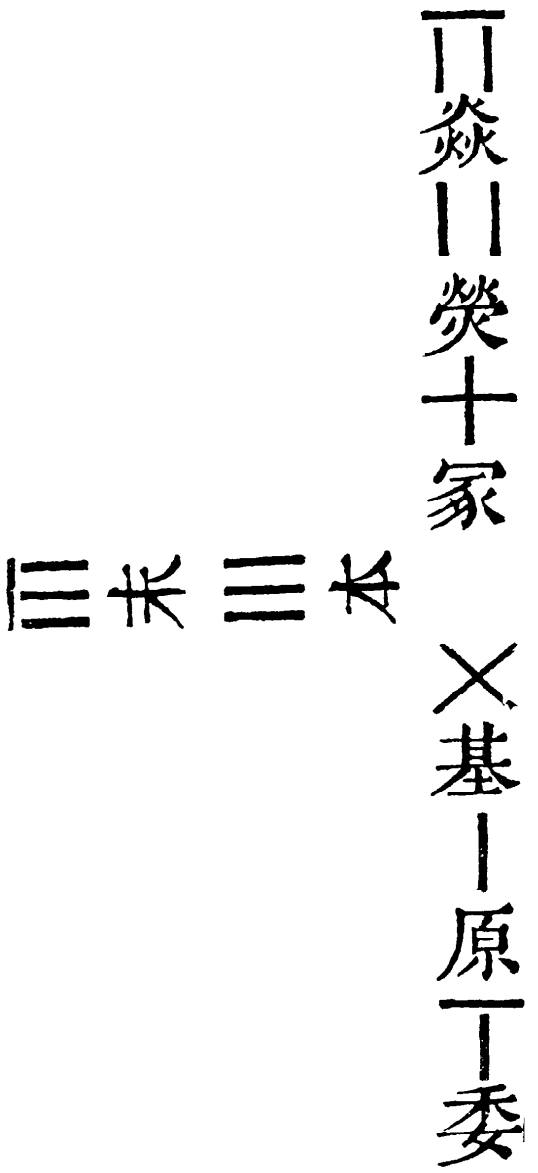
司馬光撰
張敦實論述

本館叢書集成初編所選
范氏二十一種奇書唐宋
叢書及知不足齋叢書皆
收有此書知不足重雕宋
本故據以排印

潛虛

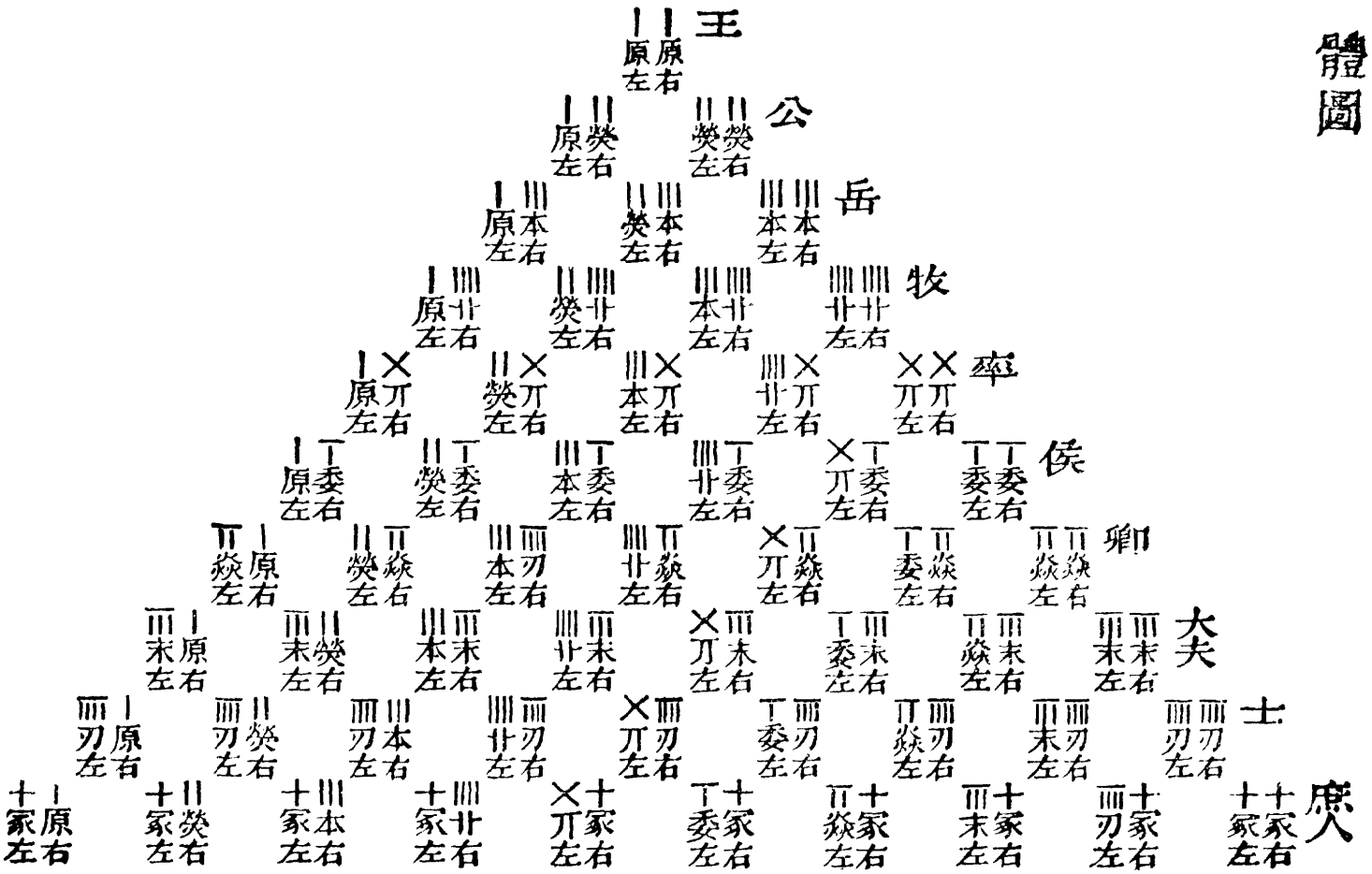
宋太師溫國公司馬　光　撰

氣圖



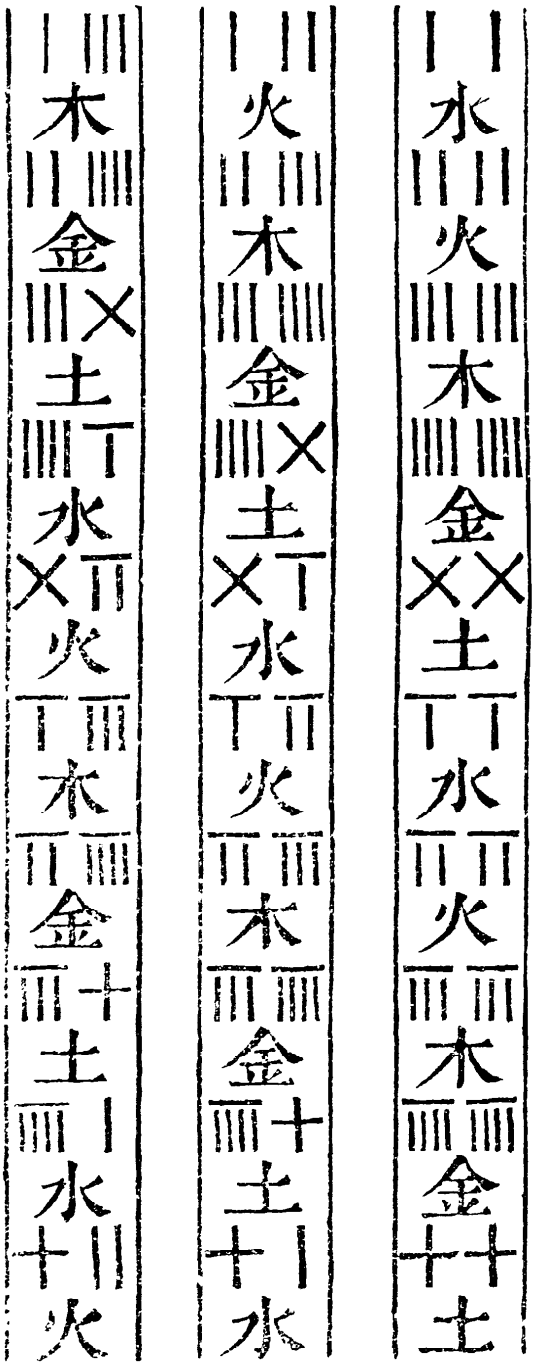
萬物皆祖於虛．生於氣．氣以成體．體以受性．性以辨名．名以立行．行以俟命．故虛者、物之府也．氣者、生之戶也．體者、質之具也．性者、神之賦也．名者、事之分也．行者、人之務也．命者、時之遇也．

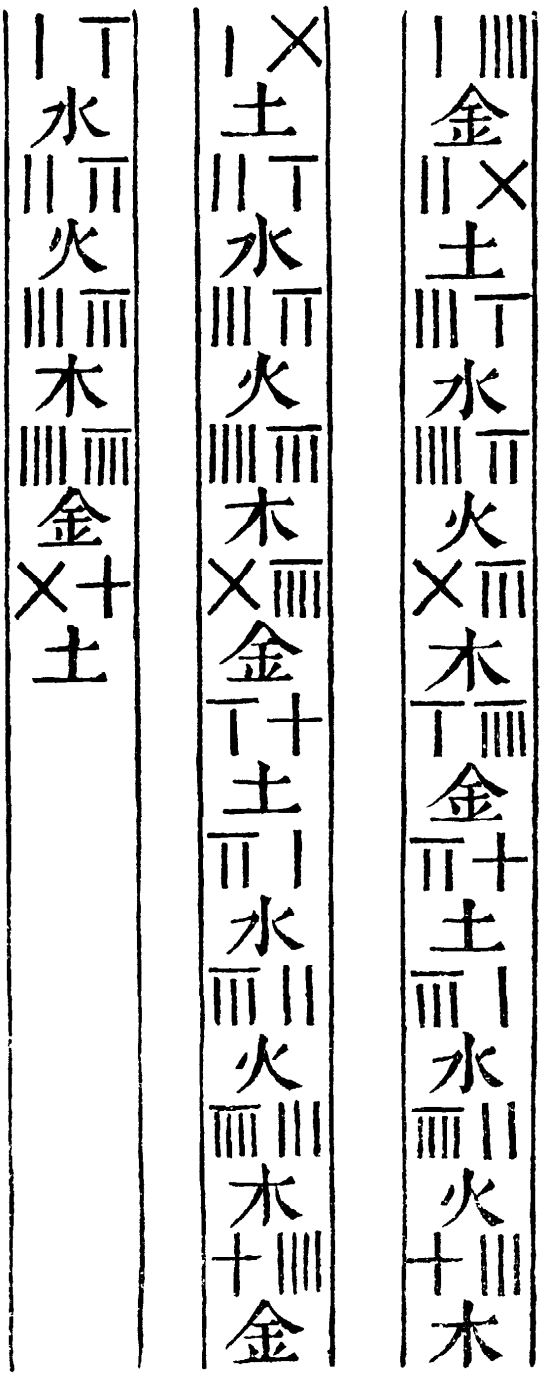
體圖



一等象王。二等象公。三等象岳。四等象牧。五等象率。六等象侯。七等象卿。八等象大夫。九等象士。十等象庶人。一以治萬。少以制衆。其惟綱紀乎。綱紀立而治具成矣。心使身。身使臂。臂使指。指操萬物。或者不爲之使。則治道病矣。卿詘一。大夫詘二。士詘三。庶人詘四。位愈卑。詘愈多。所以爲順也。詘雖多。不及半。所以爲正也。正順。萬陞之大誼也。

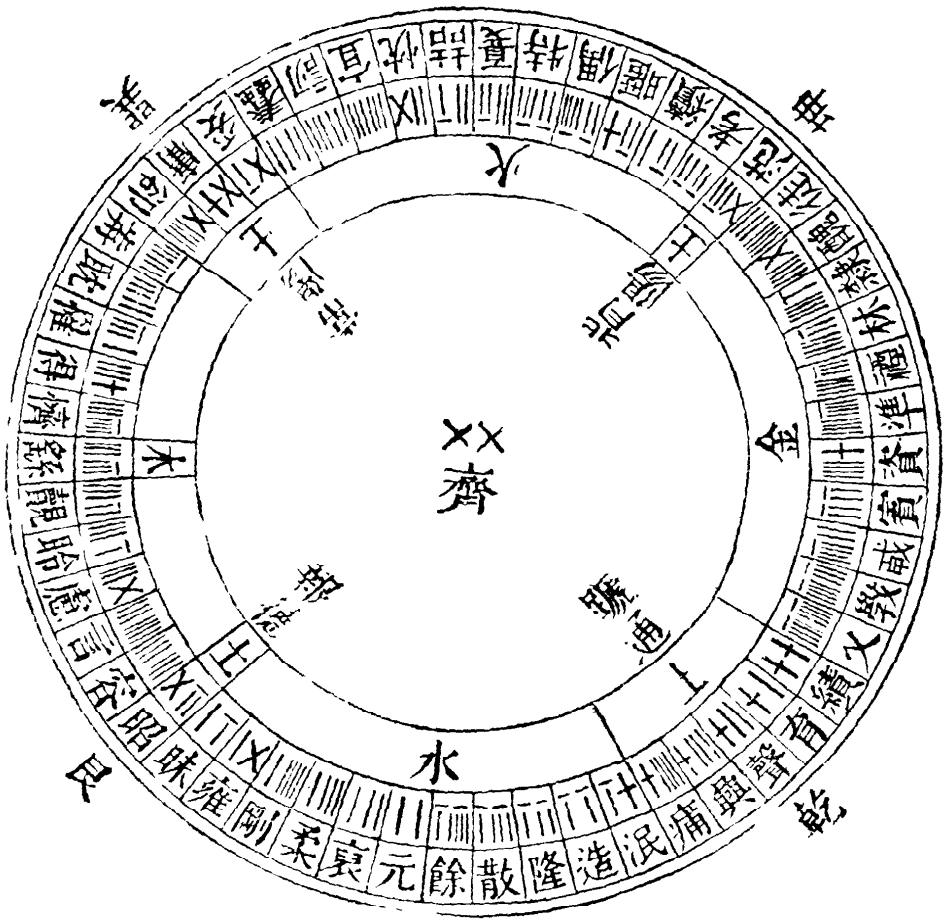
性圖





凡性之序。先列十純。十純既浹。其次降一。其次降二。其次降三。其次降四。最後五配。而性備矣。始於純。終於配。天地之道也。

名圖



一六置後。二七置前。三八置左。四九置右。通以五十。五行叶序。卬而瞻之。宿躔從度。卬則爲萬。頫則爲墜。卬得五宮。頫得十數。元餘者。物之始終。故無變。齊者。中也。包斡萬物。故無位。奧至之氣。起於元。轉而周三百六十四變。變尸一日。迺授於餘而終之。以步萬軌。以叶歲紀。人之生本於虛。虛然遂形。形然遂性。性然遂動。動然遂情。情然遂事。事然遂德。德然遂家。家然遂國。國然遂政。政然遂功。功然遂業。業終則返於虛矣。故萬物始於元。著於裒（蒲侯）存於齊。消於散。訖於餘。五者形之運也。柔、剛、雍、昧、昭。性之分也。容、言、慮、聆、覿。動之官也。繇（酋）、懠（戔）、得、羅、耽（都含）情之詇（恤）也。侮（因）、卻、庸、妥（吐火蠢尹）事之變也。訒（刃）、宜、忱、喆、戛。德之塗也。特、偶、暱、續、考。家之綱也。范、徒、醜、隸、林。國之紀也。禋（因）、準、資、賓、戠。政之務也。斆（傚）、理、績、育、聲。功之具也。與、痛（鋪）、泯、造、隆。業之著也。爲人上者。將何爲哉。養之、教之、理之而已。養之。故人賴以生也。教之。故人賴以明也。治之。故人賴以乂也。夫如是。故人愛之如父母。信之如卜筮。畏之如雷霆。是以功成而名白也。夫爲人上而不能養。則人離叛矣。養而不能教。則人殺亂矣。教而不能治。則人抵捍矣。三具者亡。而祈有功者。可得乎。

釋音

卬（魚兩切）・萬（古文天字）・頫（說文音俯）・墜（籀文地字）・奧（古文冬字）・迺（古文後字）・戠（戎

行

圖	變	圖	解	圖
一 元	愼于舉趾．差則千里．機正其矢．	愼于舉趾．差則遠也．		
元、始也．夜半、日之始也．朔、月之始也．冬至、歲之始也．好學、智之始也．力行、道德之始也．任人、治亂之始也．				
二 哀	初 進而逶而．俟其信而．利用正．	聚不可苟．必進逶也．		
哀、聚也．氣聚而物．宗族聚而家．聖賢聚而國．	二 人倮而蠃．獸猛而殫．	人倮而蠃．善以逭羣也．		
	三 百毒之聚．朋者爲主．惟物之蠱．	百毒之衆．止害人也．		
	四 羽毛鱗介．各從其彙．	羽毛鱗介．聚以倫也．		
	五 蒐絲之棼．附草絕根．	蒐絲之棼．不知固根也．		
	六 八音和鳴．神祇是聽．	八音之哀．感人神也．		
三 柔	上 星還於山．冰汁於川．	星還冰汁．聚枸必分也．		
柔、地之德也．臣之則也．天爲剛矣．不逆四時．君爲剛矣．不卻嘉謀．金爲剛矣．從人所爲．故剛而不柔．未有能成者也．	初 馬牛服役．左右殫力．	馬牛服役．臣職宜也．		
	二 簠簋戚施．盜跖之祈．或得其笞．	盜跖之祈．靡不爲也．或得其笞．爲主所知也．		
	三 齒剛必缺．久存者舌．	齒缺舌存．久剛必危也．		
四	蓳石之落．抗之以幕．	蓳石之落．強不能支也．		

五　大柔如水・利物無已・　大柔如水・不與物違也・

六　蒲梁柳轂・傾幮脫輻・　蒲梁柳轂・任重力微也・

上　綴旒靡委・政不在己・　綴旒靡委・君道非也・

Ⅲ剛

Ⅰ剛

初　偃王無骨・莫之自立・　人之有骨・以自立也・

二　不忍小辱・自經溝瀆・　自經溝瀆・小人決也・

剛、天之道也・君之守也・地爲柔矣・負載山岳・臣爲柔矣・正直諤諤・水爲柔矣・積崖穿石・故柔而不剛・未有能立者也・

三　目瞋耳塞・拔木觸石・一跌而踣・螻蟻之食・　一跌而踣・不復振也・

四　金與玉軸・歷險不覆・　金與玉軸・任重載也・

五　介潔自守・其要无咎・　其要无咎・由寡欲也・

六　精金百鍊・有折無卷・　有折無卷・質不渝也・

上　歐冶鑄劒・利用加錫・　利用加錫・過剛則折也・

Ⅱ雍

初　匪飛匪潛・出門交有功・　出門交有功・尚和也・

二　柳下惠・不易其介・伯夷・怨是用希・　夷、清不偏・惠、和不流也・

三　玉質金聲・利用陳於帝庭・　玉質金聲・有嘉德也・

四　猶猶豫豫・無施而適・搏沙雜糅・舒席卷棘・　猶猶豫豫・不可如何也・

雍、和也・天地萬物之性・不剛則柔・不晦則明・通而行之・其在和乎・

五　鬻者減・求者增・卒會於平・

鬻減求增・益寡損多也・

六　鹽梅不適・羹棄不食・

鹽梅不適・性有頗也・

上　天地融融・萬物緇緇・

天地融融・萬物和也・

初　取足於己・不知外美・

取足於己・所以昧也・

二　日匿其光・徯於東方・

日匿其光・德未耀也・

三　鐵目石耳・蹈於淵水・

鐵目石耳・不可導也・

四　冥行失足・或導之燭・

或導之燭・能受教也・

五　無相之瞽・闔戶而處・

闔戶而處・未失道也・

六　不習而斲・敗材毀樸・

不習而斲・不免咎也・

上　偶人守金・衆盜攸侵・

以昧居上・必有盜也・

初　奩其鑑・拂其塵・覩其形・

奩鑑拂塵・以自照也・

二　隋珠照夜・不如膏燭・

珠能照夜・不可常也・

三　察窮秋毫・物駭而逃・

察窮秋毫・物所駭也・

四　鑿隙偷光・厥志惟勤・爭畀之燭・

鑿隙偷光・善昏明也・爭畀之燭・遂光大也・

昧丨丅

昭丅丌×

昧、晦也・日之晦・晝夜以成・月之晦・弦望以生・君子之晦・與時偕行・

昭、明也・天地之明・靡不察也・日月之明・靡不燭也・人君之明・官羣才也・怛有幸也・懋有功也・

五　循牆不蹴・秉燭而跌・

六　日麗於天・萬物粲然・

上　宿火於灰・

初　修而貫而・久而安而・

二　葆首夷俟・不若遄死・

三　頹面不飾・

四　褧衣錦裏・君子養美

五　如圭如璋・以和以莊・

六　朱襮紫裏・服久必敝・

上　樛木之垂・甘瓠之纍・

初　壺囊之口・可用以受・瘖者之食・稻粱之賊・

二　人不我知・餽金而疑・

三　不固其關・禍溢浮天・

四　天信其時・萬物攸期・

五　庸言之謹・必顧其行・

容

容、貌也・尊卑有儀・軍國有容・捨之則厖・

言

言、辭也・有雷有風・天心始通・有號有令・君心無隱・有話有言・中心乃宣・

五　秉燭而跌・恃明懈也・

六　日麗於天・無不照也・

上　宿火於灰・善養明也・

初　修容有常・久則貫也・

二　葆首夷俟・不可遄見也・

三　頹面不飾・質不變也・

四　褧衣錦裏・不自絢也・

五　以和以莊・容之善也・

六　朱襮之敝・其裏見也・

上　木之瓠纍・貴下賤也・

初　稻粱之賊・言不可已也・

二　餽金而疑・人弗信也・

三　禍溢浮天・不可收也・

四　萬物攸期・素信之也・

五　庸言之謹・以立誠也・

六 時言之利・上下攸賴・

上 言由於德・弗思而得・萬世之式・

初 秋毫差機・矢不可追・

二 旁瞻千里・卻顧百世・

三 澄源正本・執天之鍵・

四 林甫月室・慍入笑出・匪躬之益・

五 萬物之神・出天入塵・

六 謀利忘寢・商賈之任・

上 孔子縱心・不踰矩・

初 聽德惟聰・否不若聾・

二 蒭蕘弗徹・舜聰四達・

三 甘言便耳・沒於淵水・

四 苦言刺耳・惟身之利・

Ⅲ×慮

慮、思也・聖人無思・自合於宜・賢者之思・以求其時・臨事不思・不能言幾・學道不思・不能造微・

上 言由於德・非意之也・萬世之式・當於理也・

初 秋毫差機・不可不愼也・

二 旁瞻卻顧・所慮遠也・

三 澄源正本・萬術盡也・

四 匪躬之益・終自及也・

五 出天入塵・無不燭也・

六 謀利忘寢・思不遠也・

上 孔子縱心・從容中道也・

初 否不若聾・聞無益也・

二 舜聰四達・聰不蔽也・

三 甘言便耳・不可悅也・

四 苦言利身・不可惡也・

Ⅲ丁聆

聆，聽也・天下其耳・舜達四聰・蔽而不聞・是謂耳瞶・聞而不擇・是謂心聾・所以王者聽德惟聰・學者非禮不聽・

五　卑聽惟順・擇其利病・　擇其利病・由乎心也・

六　蟻鬬聞聲・惟邇言是聽・　邇言是聽・心不逮耳也・

上　聖人無擇・惡聲不入・　惡聲不入・耳不順非也・

𝌆 覿

觀、視也・天高其目・舜明四目・視而弗見・是謂目盲・見而弗視・是謂心瞽・所以王者視遠惟明・學者非禮不視・

初　粉澤之暉・覆奸埋機・昧者不知・明者識微・　昧者不知・目誘之也・

二　項楚姚虞・形似心殊・　形似心殊・明不在目也・

三　馳車擊轂・自掩其目・坦途猶覆・　自掩其目・不能見也・

四　虎視眈眈・其心潭潭・　其心潭潭・審所視也・

五　篷篠戚施・俯仰相疑・　俯仰相疑・任偏見也・

六　漆器象箸・因微知著・離婁之目・視細猶巨・　視細猶巨・明辨晳也・

上　凝旒十二・惟目之蔽・同仁一視・　凝旒之蔽・不用目也・

初　凱風怡怡・萬物熙熙・　凱風怡怡・怒氣散也・萬物熙熙・無疾急也・

二　悅之匪人・涉於幽榛・覆車陷輪・　悅之匪人・徇所愛也・

𝌇 絲

絲、喜也・天地同春・萬物忻忻・聖賢相逢・四海歸仁・

三　發笑發語・神清心舆・其斧・　弗喪其斧・未失則也・

四　聞謗而喜・反求諸己・　聞謗而喜・以從道也・

五　喜怒以律・愛惡不失・大人一大人元吉・不失律也・元吉・

六　賞溢於喜・重器是委・或顚賞溢於喜・愛人從政也・而毀・

上　爵祿錫予・飾喜之具・惜印爵祿飾喜・不虛拘也・惜印吝金・人委而去・吝金・人失望也・

初　匪怒之迺・必理之求・拔刃必理之求・先慮後斷也・難・

自怒自解・人不之畏・

自怒自解・威已玩也・

二　

三　快心一朝・忘其宗祧・失不可招・鯫鯫之浮・烏鳶之求・

快心一朝・忘後患也・

四　雷霆赫赫・亂是用息・狠瞳死國・

雷霆赫赫・以止亂也・

五　眚衆布刑・怒然後興・

無刑而怒・祇取嫚也・

六　忍之少時・福祿無期・

忍之少時・迺免難也・

上　雷風既息・繼以沛澤・

風息而雨・羣物滓也・

初　耳目鼻口・外交中誘・惟心之告・

外交中誘・心不君也・

二　以禮制心・成湯之德・漢高入關・弗徇貨色・

弗徇貨色、智之事也・

三　聖人徇理・百物不廢・其心無累・

其心無累・過不留也・

四　豨腹豕醫・爲人益膏・

豨腹豕醫・貪欲不厭也・

五　守常知足・不危不辱・　不危不辱・又何求也・

六　不學無義・惟飲食牝牡之嗜・禽欲之斃・猶可食也・禽獸之斃・

上　鴟爭腐鼠・鵷雛弗顧・　腐鼠弗顧・乃可貴也・

Ⅲ 罹

罹、憂也・知命樂天・無憂則賢・樂天知命・有憂則聖・若夫涉世無事・則有常理・始於憂勤・終於逸樂・人無遠慮・必有近憂・

初　飽食無憂・襟裾馬牛・　襟裾馬牛・人必有憂也・

二　巨鱷之蛾・衝風激波・濟於江河・先哭後歌・　先哭後歌・憂則有喜也・

三　火在薪下・安寢不懼・　安寢不懼・無所知也・

四　德誼不積・惟躬之戚・　德誼不積・賢者之憂也・

五　嫠婦之悴・匪知其緯・　嫠不恤緯・知所憂也・

六　杞人蚩蚩・憂天之墮・　憂天之墮・亦過計也・

七　周規孔制・後世之計・　周規孔制・憂萬世也・

Ⅱ 湛

湛、樂也・以欲忘道・惑而不樂・以道制欲・樂而不亂・去欲從道・其樂也誠・

初　利用作室・罔憚于勤・大廈以成・婦子欣欣・　婦子欣欣・享其安也・

二　萬民不區・守業安居・形苦心愉・　形苦心愉・內自適也・

三　醉飽之悟・歌舞之紛・突火將焚・盜倚其門・　醉飽之悟・忘躬之戚也・

四　酒食衎衎・威儀反反・絅墨不遠・　酒食衎衎・以禮自飭也・

情有七、而最其五・何也・人喜、斯愛之・怒、斯惡之・故喜怒所以兼愛惡也・

䷂ 屯

初、進也・駑馬日進・騏驥可及・學者日進、聖門可入・爲國日進・功業可得・險巇日進・或至於蹉・

五 不勤厥敢・喪其稷黍・

不勤厥敢・無以食也・

六 家有韶濩・外忘其慕・

家有韶濩・樂道德也・

上 王用宴於鎬京・

鎬京之宴・樂以天下也・

初 屯非獲已・進寸退尺・飾其金履・

屯進之初・不可不愼也・

二 盲人操舟・乘彼湍流・

盲人操舟・禍在不振也・

三 日出而征・日沒而息・君子之則・

君子之則・出處順也・

四 兔跳而駒・鳥斃而伏・弧張肘縮・

兔跳而駒・以退爲進也・

五 主人三宿・日中必暴・失時不逐・

主人三宿・征勿問也・

六 驚馬之疲・驥馬之追・轂羽強轡・墜于溝羅・

驚馬追驥・力疲盡也・

上 日沒而征・力憊而登・遇梓逢兵・

日沒而征・危辱近也・

䷓ 卸

初 一葉于塗・木陰未央・我心傷悲・

一葉于塗・陰始長也・

二 睡面不辱・叱嗟不縮・或揖諮谷・

睡面不辱・顏之強也・

三 雲翬于江・舟蔽于浦・雷出于山・車稅于宇・

雲翬于江・識微象也・

四 卸、退也・日月進退・晦明以成・寒暑進退・品物以生・君子進退・功名以彰・

納履而顧・心留迹去・

納履而顧・心有望也・

五　揖之則痡・麾之則止・無慍無喜・

六　膳珍不御・致鼎而去・勿狽其飫・

上　龍登于雲・垂尾之卷・下人式瞻・

初　天地之德・變化無極・四時不忒・井泉之潔・汲者不絕・

二　井泉之潔・常可久也・

三　嶽鎭之巍・無增無虧・

四　樹楊沃水・一日十徙・

五　晝作夜息・寒耕暑織・小人其職・

六　井汚而久・弗幕其口・

上　魚跳失水・困于螻蟻・

初　藏心于虛・非有非無・其樂于于・

二　止水之清・鑑物而明・

三　窮瀆之腐・衆惡攸聚・

十×庸

庸、常也・日月運行・不差日暮・四時變化・不愆寒暑・君能下下・不失其尊・聖賢達節・不亂其經・

二　井泉之潔・常可久也・

初　天地之德・變化無極・四時不忒・井泉之潔・汲者不絕・

上　龍登于雲・垂尾之卷・終可卬也・

六　膳珍不御・志不享也・

五　揖之則痡・麾之則止・動不妄也・

丁×妥

妥、靜也・息也・日息于夜・月息于晦・鳥獸息于蟄・草木息于根・爲此者誰・曰天地・天地猶有所息・而況于人乎・

三　窮瀆之腐・不能擇居也・

二　鑑物而明・得所止也・

初　藏心于虛・不假物也・

上　魚跳失水・不安常也・

六　井汚而久・不知變也・

五　嶽鎭之巍・善保常也・

四　一日十徙・不能以榮也・

三　小人其職・君子治也・

四　馴鹿籠鸚・由習得成・　由習得成・制而心也・

五　居則鬱鬱・動則愈屈・吉人之得・躁人之失・　吉人之得・靜以待也・

六　鼠窗于泥・不能鳴蜚・　鼠窗于泥・志在汚也・

上　雷伏于地・或震于天・火伏于灰・或燎于原・　雷震火燎・因時勢也・

初　陽氣潛萌・品彙咸生・充物乾坤・　陽氣潛萌・動在中也・

☰蠢

蠢、動也・天之動・晝夜以行・地之動・草木以生・聖賢之動・功業以成

二　新居之徙・舊居之棄・不如其已・　新居之徙・未有利也・

三　狙入于罔・跳梁仆仰・　狙入于罔・躁益躍也・

四　據于蒺藜・欲去何之・不去何爲・去或得岐・　雖無所之・不可處也・

五　鑿凍樹稷・勞而無得・　鑿凍樹稷・徒自勤也・

六　樹穀于雨・拔草于暑・　樹穀于雨・貴及辰也・

上　說心藏密・龍蛇其蟄・利用無極・　龍蛇之蟄・以存神也・

初　牽牛擊鐘・惻于厥心・　牽牛惻心・仁之祖也・

☰訒

訒、仁也・天地好生・秋不先春・王者尚恩・德先于刑・人無惻隱・虎狼奚異・擴而充之・同仁一視・

二　養虺縱蝗・匪仁之方・　養虺縱蝗・失所與也・

三　工不踰閑・車成轢轍・　工不踰閑・冥中度也・

四　青釜白刃・利以征亂・　青釜白刃・斷以誼也・
五　赤子在谷・丈人濡足・　赤子在谷・濡不避也・
六　推輿濟人・不如杠梁之辰・　推輿濟人・惠不大也・

𝌆宜

初　宜、誼也・君子有誼・利以制事・事無常時・務在得宜・知宜而通・惟誼之功・闇宜而執・亦誼之賊・所以天地當秋・不廢肅殺・聖人用刑・不害慈愛・

上　至德如春・浹于無垠・莫知仁道大成・萬物遂也・其然・
二　守爾庖魚・喪爾囊珠・匪愚則迂・　盜跖莊蹻・諱聞其惡・　跖蹻諱惡・有羞惡也・　喪爾囊珠・所失大也・
三　徇利遺節・託名以說・汚予斧鉞・　託名以說・以欺世也・
四　名駒大輅・安行正路・疾徐中度・　疾徐中度・不失節也・　李璀殺身・不可爲名也・
五　李璀殺身・無所成名・
六　斷臂納肝・毀形殘生・惟心所安・　毀形殘生・義無吝也・
上　徇義之大・手足無愛・　手足無愛・大得宜也・
初　可用交・勿恤其孚・後有徒・　勿恤其孚・自誠也・
二　言無夸善・懼不能踐・　言無夸善・省華求實也・

𝌆忱

忱、信也・天地信而歲功成・日月信而歷象明・人君信而號令行・人臣信而邦家榮・苟爲捨之・未見其能久長者也・

三 天道難測・四時不忒・下土之式・人信之也・
四 父子乖離・吐心而疑・既不在辜・父子乖離・不知其可也・
五 硜硜之信・小夫之謹・小夫之謹・可爲民也・
六 小信之必・大誼之失・君子不由・君子不由・輕重權也・
上 堅城捍外・彊陛遏水・革囊浮海・漏不在大・城陛浮囊・不可不完也・
初 益薪火發・滌穢泉冽・益薪滌穢・務學祛蔽也・

丁 詰

詰、智也・經天緯地・必有其理・智者見之・心開事濟・鑿以爲巧・詐以爲姦・聖門論智・其說不然・

二 斤斧顓顓・梓匠之從・梓匠之從・小役大也・
三 盜兵利・吏不制・盜兵利・祇益害也・
四 動若流水・惟物之利・流水之動・以利物也・
五 務本安分・金玉其命・務本安分・知保身也・
六 狙鼠狡譎・志在竊食・狙鼠狡譎・以竊食也・
上 神禹濬川・行其自然・行其自然・不爲鑿也・
初 仰天俯地・正名辨位・以定民志・仰天俯地・名位判也・

二 敝衣敝形・猶愈裸裎・敝衣敝形・猶愈無也・

戊 戛

戛、禮也・天高地下・制禮之經・尊隆卑殺・飾禮之文・人不知禮・進退無度・手足罔措・國不用禮・紀綱不舉・四鄰之侮・

三	衣冠周孔・揖遜發家・	揖遜發家・以飾姦也・
四	掣牛之狂・服畝遵場・	掣牛之狂・能自制也・
五	偶人粉澤・	偶人粉澤・徒飾外也・
六	斐如煌如・紀如縞如・四海王如・	斐如煌如・王者事也・
上	男女貴辨・嫂溺則援・	嫂溺則援・禮有權也・
初	桃李之哀・情懌心悲・松筠之思・	松筠之思・晚無改也・
二	有緹在牢・或投之刀・先笑後號・	先笑後號・不求終也・
三	夫剛而令・婦順而聽・	夫剛婦順・未失常也・
四	閨門雍穆・靡歌靡哭・	靡歌靡哭・得中節也・
五	德禮不貳・舜嬪嬀汭・	德禮不貳・以身先也・
六	鉛刀析薪・折齒餘斷・	折齒餘斷・不可用制也・
上	枯楊生華・老夫得其女妃・蛇入燕巢・惟雛之悲・	枯楊生華・何可久也・蛇入燕巢・必敗家也・
初	嗜酒之甘・不知沈酣・虺蛇是長・末或成蜴・	末或成蜴・不早辨也・
二	忌疾貪鄙・徇情黜理・	徇情黜理・不服訓也・

特Ⅲ

特、天也・天氣下降・地資以生・日光旁燭・月借以明・夫和而正・婦聽以行・是謂天地之終・陰陽之義・人道之始・

偶Ⅲ

偶、妃也・天能始事・地實終之・陽能生物・陰實成之・有夫無婦・中饋孰主・所以咸先于常・男下於女・

三　牝雞司晨・惟家之索・　牝雞司晨・反常也・

四　墜柔而靜・品物咸正・　墜柔而靜・順承天也・

五　無非無儀・中饋攸司・　中饋攸司・未失道也・

六　康王晏起・姜后請罪・　姜后之請・警戒相成也・

上　君王后治齊・不可用正・呂武用・　不可用正・婦人從子也・

初　九族咸序・省躬之故・　省躬之故・知所從也・

十　暱

Ⅱ　暱、親也・疎者必疎・親者必親・事之常理・人之常情・苟違其常・心安可怙・識者畏之・如避豺虎・

二　象封有庫・食而弗治・　食而弗治・弗私以政也・

三　竹枯不拔・蚿死不蹶・　竹蚿之安・輔之多也・

四　條亡枘存・或斧之恨・　條亡枘存・見者執柯也・

五　父母妻屬・等衰以睦・　等衰以睦・示不同也・

六　割臂斷足・易之金玉・其肌不屬・　割臂易玉・棄親卽它也・其肌不屬・人於汝何也・

上　堯舜親親・萬國興仁・　萬國興仁・大成仁也・

初　絡馬首・穿牛鼻・利用以早・　絡馬穿牛・初易馴也・

Ⅱ　續

續、子也・堯父舜子・二者難全・與其父智・寧若子賢・所以舜生商均・虞祚不延・鯀生神禹・祀夏配天・

二　父墜其土・子終厥畝・　子終厥畝・能紹先也・

三 蠆子滿腹・不如蜾蠃之不育。
四 飯菽羹黍・父母怡怡・
五 鷹雛匪鸞・不爲鴟鳶・
六 酒醴紛如・父母頻如・

上 體完不隙・德備不虧・祖考之暉・
初 老牛舐犢・不如燕引其雛・

二 作室無資・勿壞其基・以俟能爲・
三 愛馬益粟・肥溫而陸・終不可服・或授之粱・
四 散而金珠・聚而詩書・賢不喪志・否不益愚・
五 囊金匣玉・不畀之燭・盜守之辱・
六 薪火不滅・錫汝圭璧・貽汝聖詰・無疆之慶・

上 丹朱商均・利用作賓・
初 易子之義・責善是爲・惟嚴之利・

二 衡不平・繩不直・大斟短尺・民莫之則・

Ⅱ考 父也・君爲尊矣・患於不親・母爲親矣・患於不尊・能盡二者・其惟父乎・慈而不訓・失尊之義・訓而不慈・害親之理・慈訓曲全・尊親斯備・

Ⅲ范 師也・天垂日星・聖人象之・地出圖書・聖人則之・漁叟之微・文武是資・郯子之陋・孔子所咨・若之何其無師

三 章句之見・授其訓傳・以錙 以錙投鍵・發蒙也・
投鍵・
四 北指燕・南指楚・惟爾之取・ 北燕南楚・使自謀也・
五 準矩繩規・衆法攸資・ 準矩繩規・先自脩也・
六 投璧於閽・或按之劒・ 投璧於閽・人不見也・
上 聖作六經・萬世典刑・如見其人・ 萬世典刑・言作訓也・
初 出門擇術・跬步之失・之晉而粵・ 出門擇術・愼所從也・
二 巧心妙手・木不彫朽・ 木不彫朽・其質陋也・
三 虎豹之能・千人莫當・不可服箱・ 不可服箱・不可訓也・
四 驊騮千里・造父授轡・一日 一日千里・天才異也・
五 中人不墮・可以寡過・ 中人不墮・志務學也・
六 樛木之曲・惟材之辱・爲輪轉轂・ 曲木爲輪・性可揉也・
上 仲尼之道・三傳不晉・以克永世・ 以克永世・道大明也・
初 素絲縞如・適緇適朱・ 適緇適朱・惟所擇也・
二 意氣相許・不以利取・ 取不以利・能擇交也・

×
醜 醜、友也・天地相友・萬彙以生・日月相友・羣倫以明・風雨相友・草木以榮・君子相友・道德以成・

徒 徒、衆也・薪以續火・益之愈光・江漢承流・達于遐方・顏閔傳業・聖道以彰・

三　水石相親・石潔水清・蓬麻共植・惟蓬亦直・　惟蓬亦直・近賢也・

四　總角綢繆・膝而漆投・半塗分流・注矢操矛・　注矢操矛・反相賊也・

五　春耕秋穫・易力並作・游惰勿諾・毛羣羽聚・粮食之蠹・　游惰勿諾・不如已也・粮食之蠹・無所益也・

六　一首三尾・先完後毀・惟初之皋・　惟初之皋・不早識也・

上　木養其才・工則剋之・玉潛於石・人則琢之・　木養其才・以待用也・

初　玉馬金牛・惟邦之寶・　玉馬金牛・專所奉也・

二　一身三首・蜂蟻所醜・　一身三首・無所容也・

三　登丘而俛・置膝而遠・百祿簡簡・　登丘而俛・不自崇也・

四　股肱綴體・沒世不改・　股肱不改・知所從也・

五　顏載其勞・口揚其高・挾思以驕・或偉之刀・　或偉之刀・怙其庸也・

六　秋穀既收・土田之休・　穀收田休・不敢處功也・

上　赤子之命・在厥初生・　赤子初生・性命繫也・

初　遁迹不失・無喪無得・　遁迹不失・亦足繼也・

二　林、君也・三人無主・不能共處・一人元良・萬國以康・厥德惟何・仁武及明・備則蕃昌・缺則衰亡・

Ⅱ林　

Ⅲ隸　隸、臣也・地不天、不能以生・月不日、不能以光・臣不君、不能以功・

初　木養其才・以待用也・

二　玉馬金牛・專所奉也・

三　一身三首・無所容也・

四　登丘而俛・不自崇也・

五　股肱不改・知所從也・

六　或偉之刀・怙其庸也・

上　穀收田休・不敢處功也・

初　赤子初生・性命繫也・

二　遁迹不失・亦足繼也・

三 姦賞忠誅・臧違否依・首足顚施・

四 巨舟峨峨・濟于洪波・

五 夫民之所資者・道也・不可斯須去也・是以君臣相與議於朝・師友相與講於野・然後道存而國可治也・

六 日昭如・棫柱森如・忠進姦誅・

七 日中而移・山高而危・大人克終・

初 聖人知幽明之故・死生之說・鬼神之情狀・

二 禋、祀也・豺知祭獸・獺知祭魚・忘先背本・傲忽狂愚・明而人責・幽則鬼誅・

三 禋

四 鑑無光・斧無銼・股肱不從・一光銼之無下不使也・惟身之殃・

五 巨舟峨峨・濟于洪波・賴賢以濟也・

六 天日昭如・明無蔽也・

七 日中而移・不可不戒也・

初 祭祀之設・非虛文也・謂祖無知・謂天可欺・謂祭何爲・心徹息也・

二 豺獺之鑒・霜露之思・無失其時・不忘本也・

三 匪隆匪殺・惟義所在・

四 繭栗之角・瓦登匏爵・上帝是享・

五 弗播而穀・弗攻而木・祀淫祭瀆・佞神也・

六 學匪干祿・祭匪求福・果時則熟・

初 堇荼之萌・薙則不榮・燎火熒熒・沃不焠瓶・

二 瞽夫執鉦・蘭艾同制・上罔下罘・獸駭而突・

三 準、法也・爲農無法・黍稷不生・爲工無法・器用不成・用衆無法・資敵喪兵・治國無法・長亂殃民・

三　罔密而敝・衛逃飢繫・不如其棄・

四　禽虎于穴・百獸戰栗・罔目甚闊・冒不可脫・

五　盤水之盈・小偏必傾・庭燎之明・繼其薪蒸・

六　稂莠之鉏・嘉穀扶疎・

上　驅蠅去飯・毋使汚案・逐之勿遠・

初　衣食貨賂・生養之具・爭怨之府・當義治也・

二　子贏父單・不憂飢寒

十　貲

貲、用也・何以臨人・曰位・何以聚民・曰財・有位無財・斯民不來・所以洪範八政・食貨惟先・天子四民・農商居半・

三　務其耕桑・尊農卑商・疏原道委・上下均利・

四　山童澤涸・今笑後哭・

五　璞隋之富・或興或仆・

六　大盈藏金・鄙夫之心・

上　勤約成風・人不困窮・

初　賓擇主人・有禮則親・

二　三十輻共一轂・天子雍雍・四門穆穆・

衛逃飢繫・制小失大也・

禽虎于穴・百獸戰栗・罔目甚闊・冒不可脫也・暴類也・

盤水之盈・小偏則敗也・庭燎之明・繼薪・明不可息也・

稂莠之鉏・去物害也

驅蠅去飯・不足迫辱也・

子贏父單・厚于民也・不憂飢寒・必相養也・

尊農卑商・明本末也・疏原道委・通上下也・

山童澤涸・其利窮也・

或興或仆・道不同也・

鄙夫之心・私積財也・

勤約成風・身先之也・

賓擇有禮・主宜謹也・

四門穆穆・無離心也・

貲、客也・君臣燕飲・有主有賓・諸侯朝聘・天子之賓・四夷朝貢・中國之賓・所以周官設行人之職・行葦歌序賓之禮・

三 歲其塗・拒其戶・四鄰攻之・ 歲塗拒戶・不與物交也・
莫之或助・ 重禮輕幣・不爲利也・
四 重禮輕幣・遠人畢至・ 禮循其舊・國有制也・
五 伯父伯舅・惟賓惟友・禮循其舊・ 面服心違・威劫之也・
六 秦帝按劍・諸侯西馳・面服心違・ 西鄰之集・亦可畏也・
上 東鄰無客・西鄰之集・ 利用禦寇・以自衛也・
初 不利爲寇・利用禦寇・ 利劍在手・不敢飲酒・知戒愼也・
二 利劍在手・不敢飲酒・ 民殫國燼・終自焚也・
三 兵由貪忿・民殫國燼・ 兵死不弃・有節制也・
四 節制之兵・有死無弃・ 公孫之議・不窮理也・
五 公孫建議・禁挾弓矢・ 修國省躬・以正人也・
六 伐亂除凶・修國省躬・ 憂患方始・戒不虞也・
上 戢戈櫜矢・憂患方始・ 得其途路・知向方也・
初 去母從父・得其途路・ 秦人以斃・不由義訓也・
二 虎很養子・教之搏噬・秦人以斃・

三 戢

戢、兵也・天生五材・民並用之・闕一不可・孰能去兵・ 愈憂生亂・何以止亂・所以樂有舞干・燕必有射・佩劒即禦敵之具・井田寓營陣之法・

四 斁

斁、教也・木有材・工則斲之・民有性・君則改之・生之者天・教之者人・教化既美・習俗乃成・習俗既成・運數莫奪・越千百年・風流不絕・

三　建其師・立其規・執其笞・
建其師・擇師長也・立其規・示軌物也・執其笞・弼以刑也・

四　漢光厲俗・幾亡婁續・
漢光厲俗・尙名節也・

五　直木不令・其影自正・
其影自正・身先之也・

六　飽食嘻嘻・禽犢之肥・
飽食嘻嘻・逸居無教也・

上　契數五教・黎民時雍・比屋可封・
比屋可封・惡人盡也・

初　刀斧椓器・先必就礪・
刀斧就礪・先自治也・

Ⅲ　乂

乂、治也・農夫治地・種植耘除・王者治國・慶賞刑誅・衆而不治・其國無制・無制之國・其民作慝・

二　政令苛碎・遺大得細・上勞下敝・
上勞下敝・不知要也・

三　卑人爲主・喪其資斧・
喪其資斧・任匪人也・

四　欲罔之張引其綱・欲絲之治振其紀・
綱張紀治・舉賢愚從也・

五　量形製衣・可用爲儀・
量形制衣・不好大也・

六　網闊而疎・鰌鰕其逋・利以得魚・
利以得魚・得民也・

上　熊魚科斗・惟萃于首・
惟萃于首・不績終也・

十　績

績、功也・事不見功・何以爲終・務學不在多能・以道成爲功・用兵不在多勝・以亂靜爲功・是故物成秋冬・天地之功・時底隆平・帝王之功・

初　先春布穀・雖勞不肯・忍以俟時・若遲若速・
若遲若速・善乘時也・

二　帝王君臣・務在安民・
務在安民・無奇功也・

三　六子奮庸・萬物以豐・天地之功・　天地之功・不自爲也・

四　有鱣悅珠・人口之腴・　有鱣悅珠・非其人也・人口之腴・祇取禍也・

五　項羽日勝而亡・高祖日敗而王・　日敗而王・善要終也・

六　生事要功・利己夸庸・　生事要功・好作爲也・

上　漢宣効・優於孝文・日漓我醇・　日漓我醇・潛有損也・

初　井渫勿冪・遐邇之汲・　遐邇之汲・養而不窮也・

二　芻我黃牛・以耕則收・婦子無憂・　芻我黃牛・養賢也・

三　赤子啼飢・覩我朶頤・載矜載嗤・　載矜載嗤・莫之恤也・

四　吐哺餔兒・母痔子肥・母心之嘻・　母痔子肥・損上益下也・

五　燕雀之黨・自育自養・羅網・發廩移粟・　解而羅網・勿擾之也・

六　井田之行・何富何貧・萬國之均・　東歌西哭・不偏及也・

上　擊磬撞鐘・或清或洪・　萬國之均・大成也・

初　愼守而身・勿爲鴞鳴・　或清或洪・聲從實也・

二　　勿爲鴞鳴・無惡聲也・

十一　育

育、養也・天地生物・人資以養・君陳一法・人得其養・是故夫人稡養於母・幼養於父・終身養於天地人君・

十二　聲

聲、名也・無其實・聲不溢・無其聲・人不聞・聲溢而崇・德之所以終・人聞而至・業之所以始・故曰・善不積不足以成名・又曰・三代之王・必先令聞・

三　蔽葉之蜩・其鳴嘵嘵・蜚鳥之招・聲致殃也・
四　空谷來風・有聲溱溱・匪求之也・
五　鬼嘯梁上・弗見其象・人莫之享・弗見其象・無實也・
六　非害非霆・四方是聞・蟄者思亨・蟄者思亨・求自奮也・
上　金聲玉振・始終惟令・始終惟令・不寖消也・
初　選馬修輿・辨道徐驅・選馬修輿・審所寄也・
二　大饗無饗・撤木無工・有初無終・喪其故宮・大饗無饗・力不副志也・
三　澣垢縫裂・擣欲補缺・澣垢縫裂・且可衣也・
四　病危得醫・器弊得倕・病危得醫・佐以明智也・
五　榴有硪栽・或爲棟才・熒出于灰・可以焚萊・柝栽爲棟・天才異也・
六　困亂而憩・望遠而唏・望遠而唏・志力憊也・
上　總轡操箠・左右在已・總轡在上・執輿替也・
初　外強中懈・恃而不戒・外強中懈・覺所從也・
二　祛寒得熱・金石之孽・祛寒得熱・失中節也・
三　齒拔兒傷・治體得亡・治體得亡・其醫庸也・

三十四　輿
輿、起也・仆而復起・衰而更興・前王之澤・後王之能・

四十四　痛
痛、病也・官病於上・民病於下・國以陵夷・

四　固本以靜・防微以愼・天不能病・目治詳也・

五　弗益弗擊・輔根引日・以俟明術・　輔根引日・未失也・

六　其亡其亡・劑審其方・醫用其良・　其亡其亡・戒愼不敗也・

上　膏肓不治・世無良醫・　膏肓之疾・不可如何也・

初　鵂鳴于林・掟衣絮衾・　鵂鳴絮衾・宜早防也・

十
丅泯

泯、滅也・熒出于灰・噓之實難・火燎于原・滅之則易・是故周之興也・十五王而不足・及其滅也・一褒姒而有餘・可不戒哉・可不懼哉・

二　微子前見・商祀不殄・其紹如綫・　微子之祀・重存商也・

三　紹自竇亡・乃生少康・　夏之不泯・得少康也・

四　躬顚血絕・廟夷隴滅・　躬顚血絕・誠可傷也・

五　頎志蹙躬・惟運之從・　頎志蹙躬・無以攘也・

六　水戚其原・木剸其根・波高葉繁・目昧心昏・　水戚其原・何可長也・

上　前車已覆・瞻彼社屋・　前車之覆・後所慙也・

初　太虛測冥・開乾闢坤・萬有咸敍・實惟其人・　萬有咸敍・人所爲也・

二　舜禹之禪・湯武之戰・天心人願・　天心人願・非利之也・

三　用不擇術・功偕惡積・成艱毀疾・　成艱毀疾・不由德也・

丅造

造、始也・雲雷方屯・開乾闢坤・肇有父子・始立君臣・唱之者聖・和之者賢・爲之者人・成之者天・

四　依仁附義・乘時順理・誅暴能利乎物・實自利也・
誅姦利物利己・
五　量時度力・田作言一・規模規模可則・匪自棄也・
可則・
六　方春不犁・洎秋而飢・嬉子洎秋而飢・失時極也・
號悲・
上　立德建名・惟天之命・而贊立德建名・天所命也・
之成・否則禍生・
內　其憂其勤・日昇于雲・其憂其勤・明日進也・

二　隆

隆、盛也・一陽之進・必盛于夏・是謂隆暑・陰則生矣・一陰之進・必庶于寒・是謂隆冬・陽亦形焉・是故王者之業・必極盈成・盈成之時・必貴持守・可不念哉・

百禮四支・勿增勿虧・守之以祇・
禮支已完、勿增損也・善守其成・惟能謹也・

三　酒肉如陵・鑼鼓盈庭・鑠刃墮城・守傀壽也・
墮城・
視舟之濡・宰之用極・
視舟之濡・慮患于謹也・
四　暑至陰生、寒極陽萌・君子畏盈・小人怙成・
五　盛不忘衰・安不忘危・一日萬事之微・不可不慎也・
六　萬幾・
上　累土匪易・功虧一簣・
一簣未成・虧九仞也・

三　散

散、消也・氣散而竭・族散而絕・民散而滅・

初　觱弓之弨・益溼與膠・
益溼與膠・結以禮信也・
二　心德之離・微子去之・
微子去之・親戚離也・
三　守業兢兢・朝露春冰・
朝露春冰・雖凝易泮也・

四　倒廩虛庫・財散人聚・　倒庫虛庫・知所散也・

五　雰闇而星・癰潰而平・盜棄其兵・　盜棄其兵・禍亂釋也・

六　積沙防水・水至沙潰・　水至沙潰・不固結也・

上　長夜之宴・雖久必散・達者先見・　達者先見・明始終也・

丗餘下　堯舜之德・禹稷之績・周規孔式・　堯舜周孔・垂世無窮也・

餘、終也・天過其度・日之餘也・朔不滿氣・月之餘也・日不復次・歲之餘也・功德垂後・聖賢之餘也・故天地無餘・則不能變化矣・聖賢無餘・則光澤不遠矣・　終天無斁・

××齊　衆星拱極・萬矢湊的・必不可易・　衆星萬矢・誰能易中也・

齊、中也・陰陽不中・則物不生・血氣不中・則體不平・剛柔不中・則德不成・寬猛不中・則政不行・中之用・其至矣乎・

命圖

	裒	剛	昧	容	慮	覿	懠	罹	莽
吉	六	四	二	五	三	六	四	二	五
臧	四	六	四	四	二	四	六	四	四
平	二	五	五	三	五	二	五	五	三
否	五	二	六	六	六	五	二	六	六
凶	三	三	三	二	四	三	三	三	二
	柔	雍	昭	言	聆	繇	得	耽	卻
吉	五	三	六	四	二	五	三	六	四
臧	四	二	四	六	四	四	二	四	六
平	三	五	二	五	五	三	五	二	五
否	六	六	五	二	六	六	六	五	二
凶	二	四	三	三	三	二	四	三	三

庸	蠢	宜	喆	特	暱	考	徒	隸	禮	資
三	六	四	二	五	三	六	四	二	五	三
二	四	六	四	四	二	四	六	四	四	二
五	二	五	五	三	五	二	五	五	三	五
六	五	二	六	六	六	五	二	六	六	六
四	三	三	三	二	四	三	三	三	二	四
妥	訒	忱	戛	偶	續	范	醜	林	準	賓
二	五	三	六	四	二	五	三	六	四	二
四	四	二	四	六	四	四	二	四	六	四
五	三	五	二	五	五	三	五	二	五	五
六	六	六	五	二	六	六	六	五	二	六
三	二	四	三	三	三	二	四	三	三	三

戒	六	四	二	三	二
理	四	六	五	四	四
育	二	四	六	三	三
興	五	四	二	六	二
泯	三	二	五	六	三
隆	六	四	二	五	四

元、餘、齊三者無變。皆不占。初上者。事之始終。亦不占。（原文闕）

五行相乘。得二十五。又以三才乘之。得七十五。以爲策。虛其五而用七十。分而爲二。取左之一。以挂於右。揲左以十而觀其餘。置而扐之。復合爲一。而再分之。挂揲其右。皆如左法。左爲主。右爲客。先主後客者陽。先客後主者陰。觀其所合。以名命之。既得其名。又合蓍而復分之。陽則置右而揲左。陰則置左而揲右。生純置右。成純置左。揲之以七。所揲之餘。爲所得之變。觀其吉凶臧否。平而決之。陽則用其顯。陰則用其幽。幽者。吉凶臧否與顯戾也。欲知始終中者。以所筮之時占之。先體爲始。後體爲中。所得之變爲終。變已主

其大矣。又有吉凶臧否平者。於變之中、復爲細別也。不信不筮。不疑不筮。不正不筮。不順不筮。不蠲不筮。不誠不筮。必蠲必誠。神靈是聽。（原文闕）

玄以準易。虛以擬玄。玄且覆瓿。而況虛乎。其棄必矣。然子雲曰。後世復有揚子雲。必知玄吾於子雲。雖未能知。固好之矣。安知後世復無司馬君實乎。

潛虛發微論

左朝奉郎監察御史張敦實撰

潛虛總論

有物混成。先天地生。強而名之是爲道。太極元氣。函三爲一。衍而伸之是爲數。兩儀之所以奠位。萬類之所以成形。天下國家之所以致治。悉不外乎道與數。聖人筆而載之是爲易。子雲作太玄。所以明易也。温公作潛虛。所以明元也。易之作。出於不得已。元虛之作。豈亦出於不得已乎。自雄之作元。議者已紛然矣。獨有於虛乎。曰、易者。經之原也。其道奥而難知。温公固嘗云。易天也。元者所以爲之階也。將升天而可廢其階乎。又嘗譬之。扶大廈者資衆木。明大道者資衆說。蓋非特元論。亦虛論也。學者由虛而曉元。由元而究易。斯無躐等之患。而有漸進之益矣。是豈得已而不已哉。抑又以温公平生著述論之。其考前古興衰得失之迹。作爲通鑑。自潛虛視之。則筆學也。留心太元三十年。既集諸說而爲註。又作潛虛之書。自通鑑視之。則心學也。今世於筆力之所及者。家傳人誦。無間四夷。至於心思之所及。則見者不傳。傳者不習。誠可怪也。豈後世之子雲。於温公見之。後世之温公。自有時乎。敦實自幼得潛虛稿本於其裔孫伋。首尾多闕。尋訪數年。始得全文。初若聱牙漫漶不可測識。深思熟讀。乃知立辭命意。左右前後。橫斜曲直。皆有成理。因即其圖。各爲總論。庶幾學者易覽。少見温公之用心焉。雖然。詩三百篇。而聖人蔽之以一言。若道極

於微妙。而不見於日用之間。則亦何貴於道哉。是故易之所謂人道者。不過乎仁義。元之所謂大訓者。不過乎忠孝。虛之所謂人之務者。不過乎五十五行。仰而推之。以配三百六十五度。日月不能越一度以周天。人不能越一行以全德。茲又述作之深意也。學者以是求之。思過半矣。若夫大衍、五行、律歷之至數。又何患其難知焉。

元以準易虛以擬元論

切觀元之準易虛之擬元。非謂卦爻象數求以相合也。反覆其序。軫轉其道。雖若與之相戾。而終實與之爲表裏者。乃所以爲有得也。故易之爲卦六十有四。而元之首則八十有一。虛之名則五十有五。易之爻有六。元之贊則有九。虛之變則有七。易之卦有內外。元之首有四位。虛之體有十等。易有八物。元配五行。虛則兼之以生成之數。易始於乾。元則始於中。虛則始於元也。易終於未濟。元則終於養。虛則終於餘也。易之蓍策用四十有九。元之蓍策用三十有三。虛之蓍策用七十。易之揲也以四。元之揲也以三。虛之揲也以十。易之占也以動。元之占也以逢。虛之占也以變。是三者。固若相戾而不合也。及要而語極。則實相表裏。豈有異哉。易之爲卦也。始於太極。太極生兩儀。兩儀生四象。四象生八卦。八八而乘之。故極爲六十有四焉。若元之爲首。由一以生三。由三以生九。九九而乘之。斯爲八十有一焉。至虛之爲名。則始於五行。以天之中數五五而乘之。爲二十有五。以地之中數五六而乘之。爲三十。合而言之。爲五十有五焉。然則易之卦。元之首。虛之名。無以異也。易之爲爻。守金木水火而爲一。分七而爲二。於是有六爻。六六乘之。故

六十四卦而三百八十四爻具焉。若元之爲贊。則分金木水火而爲二。守土而爲一。於是有九贊。九九而乘之。故八十一首而七百二十九贊設焉。至虛之有變。以金木水火土生成之合。旋相爲宮。而生商角徵羽及變宮變徵。於是有七變。七七而乘之。以元、餘、齊之無變。故五十二名。三百六十四變生焉。易之爻元之贊。虛之變。無以異也。易之爲書也。卦有內外。以別正悔。於是有二體。故有以乾爲主而重卦者。若健而說之爲夬是也。有以坤爲主而重卦者。若順而說之爲萃是也。以震爲主。若動而說之爲隨。以巽爲主。若巽而說之爲大過。皆以其有二體故也。若元之爲書。則方州部家。以別遠近。於是有四位焉。故一元象辟。都覆三方。而方者三公之象也。方同九州。而州者九卿之象也。杖載庶部。以象大夫。分正部家。以象元士。凡此皆以其有四位故也。至虛之爲書。則體分十等。以表尊卑。故一等象王。二等象公。分岳、牧、率、侯、卿、大夫、士、庶、次爲等降。先設十純。各分其位。其次降一王引三公也。其名爲袞。其次降二王引四岳也。其名爲柔。其次降三王引九牧也。其名爲剛。其次降四王引連率也。其名爲雍。凡此皆以其有十等故也。合而論之。二體、四位、十等。同爲卦象而已。果且有異乎哉。易之爲書也。始於乾坤。而分於六子。於是有八物焉。天地奠位。知其爲乾坤。山澤通氣。知其爲艮兌。雷風相薄。知巽以辨。水火不相射。坎離以濟。凡此以其體乎八物故也。若元之爲書。則始於一水。終於五土。於是有五行焉。故首性屬水。知其爲中。首性屬火。知其爲周。礥之爲首性。得天三之木。閑之爲首性。得地四之金。少之爲首性。得天五之土。凡此皆以其配五行也。至虛之爲書。始於天一。終於地十。於是備五行生成之數。一六置後。自泯至昧。二七置前。自蠢至考。三八

置左。自容至前。四九置右。自徒至乂。五十分置於四隅。艮、昭、巽、庸、坤、范、乾、績。各有所隸。若此。以其備五行生成之數也。合而論之。八物五行。及五行生成之用。同於取象而已。果且有異乎哉。易次其卦。以陰陽消息。人事盛衰。相受其義。元次其首。以日之躔次。宿之分度。以周其數。虛次其名。以周天之度。用三百六十四變。變尸一日。故易始於乾。則以萬物之所資始。所謂有天地然後有萬物是也。終於未濟。則以變故之不可測。所謂易不可窮。故以未濟終焉是也。元始於中。則以一元之氣所由基。所謂一氣潛萌於黃鍾。信無不在其中是也。終於養。則以一歲之氣所由復。所謂星如歲。如復繼之初是也。虛始於元。則以元始也。所謂冬至之氣起於元是也。終於餘。則餘終也。所謂天地無餘。不能成變化是也。卽是推之。則卦首名之終始。無以異也。易之蓍策。本乎大衍。而虛其一。元之蓍策。本乎天地。而虛其三。虛之蓍策。本乎五行。而虛其五。故乾之策二百一十有六。坤之策百四十有四。合而計之。凡三百有六十。以當朞之日。衍而積之。凡萬有一千五百二十。以當萬物之數。此易之蓍所以用四十有九也。天之數十有八。地之數十有八。合而計之。凡三十有六。以律七百二十九贊。衍而積之。凡二萬六千二百四十四策。以當歲之日。此元之蓍所以用三十有三也。五行相乘。得二十有五。又以三才乘之。得七十有五。以占五十五名。衍而積之。凡三千八百五十策。以成變化之用。此虛之蓍所以用七十也。卽是推之。則策算之無窮。無以異也。分而爲二。挂一於指。揲之以四。歸奇於扐。此則易之揲法也。先挂其一。半分其餘。揲之以三。幷餘於扐。此則元之揲法也。分而爲二。右挂左一。揲左以十。歸餘於扐。再分揲右。皆如左法。此則虛之揲法也。易揲以四。故取七八

九六.以定六爻之法.元揲以三.故取七八九.以定四位之畫.虛揲以十.故取左右生成之數.以定合體之名.是則揲法之同也.七爲少陽.八爲少陰.而七八爲無變.九爲老陽.六爲老陰.而九六爲有變.不變者.靜而守其位.有變者.動而有所之.此則易之占法也.旦筮用經.夕筮用緯.休則逢陽星.時數辭從.咎則逢陰星.時數辭違.此則元之占法也.左爲主.右爲客.先主後客者陽.先客後主者陰.陽則用其顯.陰則用其幽.此則虛之占法也.易取其變.故以九六.而辨其吉凶.元取其逢.故以從違.而別其休咎.虛用其變.故以幽顯.而辨其否臧.是則占法之無以異也.夫以首準卦.以名擬首.以贊準爻.以變擬贊.以四位準二體.以十等擬四位.以五行準八物.以生成演五行.至於卦首名之相次.策算之無窮.蓍之數.占之法.未有不同者.自非好古樂道.用心於內.超然自得於犧易之旨者.孰能進此.知揚子雲深湛之思.司馬君實專精之見.皆有以臻大易之奧也.

氣論

五行之在天地間.一水.二火.三木.四金.五土.生數也.所謂生數者.五行具天地自然之氣也.故五行生數.各含一陰一陽之性.在九疇.則五行一曰水.二曰火.三曰木.四曰金.五曰土.有自然之象也.在易則天一.地二.天三.地四.天五.有自然之數也.物生而後有象.至滋而後有數.則生數一十有五.兆於此也.天一.居北方坎位爲水.地二.居南方离位爲火.天三.居東方震位爲木.地四.居西方兌位爲金.天五.居中而爲土.在虛則有原.有熒.有本.有井.有基焉.至土則本無方隅.分王四正之方.能生萬物.故北方水一.得土五而

成六。南方火二、得土五而成七。東方木三得土五而成八。西方金四、得土五而成九。中央五土合而成十則成數四十。成於此也。生數一十有五。成數四十。生成之數五十有五。所以具天地終始之道。在太虛之中。能成變化而行鬼神也。白虎通曰。土可以王四季者何。木非土不生。火非土不榮。金非土不成。水非土不高。土扶微助衰。歷成其道。故五行更生。得土以助之。所以昔之原者今有委。昔之熒者今有焱。昔之本者今有末。昔之卄者今成刃。昔之基者今成冢矣。

體論

天地之數。一、三、五、七、九。陽之奇也。故爲天之數。天乘陽也。二、四、六、八、十。陰之偶也。故爲地之數。地乘陰也。陰陽合德而剛柔有體。此五位所以貴乎相得也。五位相得而各有合者。天一與地六相得。合而生水。有原而有委。地二與天七相得。合而生火。有熒而有焱。天三與地八相得。合而生木。有本而有末。地四與天九相得。合而生金。有卄而有刃。天五與地十相得。合而生土。有基而有冢。以五行生成。合而言之。則有十。故一等象王。至十等象庶人。總五十有五體。體有左右。所以辨賓主也。體有上下。所以辨尊卑也。左爲主。右爲客。上爲尊。下爲卑。一等象王。尊無二上。故體之左右。純乎一也。二等象公。下王一等。故右純乎二。左事王也。三等象岳。下公一等。故右純乎三。左事王公也。四等象牧。下岳一等。右純乎四。左事王公四岳也。五等象率。下牧一等。右純乎五。左事王公岳牧也。自一至五。皆用五行之生數。以與天下之治者也。六等象侯。下率一等。右純乎六。左事王公岳牧率也。七等象卿。下侯一等。右純

乎七.左事公岳牧率侯.詘乎一者.不及左事王也.八等象大夫.下卿一等.右純乎八.左事岳牧率侯卿.詘乎二者.不及左事王公也.九等象士.下大夫一等.右純乎九.左事牧率侯卿大夫.詘乎三者.不及左事王公四岳也.十等象庶人.下士一等.右純乎十.左事率侯卿大夫士.詘乎四者.不及左事王公岳牧也.自一至十.皆用五行之成數.以成天下之治者也.上下相承.若此.故能使天下之大.若綱在綱.若臂使指.無末大必折、尾大不掉之患矣.

性論

五行之性.其相生也.不失其爲相繼.其相克也.不失其爲相成.相繼者.四時之次也.相成者.六府之敍也.四時之次.金生水而冬承秋.水生木而春繼冬.木生火而夏繼春.皆相生以相繼也.六府之修.以土治水.以水治火.而水火爲用.以火治金.以金治木.而金木爲器.以木治土.以土治穀.而土穀爲利.此皆相克以相成也.虛之合德.雖存二體.合爲一用.大率不出相生相克.不失其性.故能其用無方焉.始於十純.其體立而不改.其次降一.故水與火配.其次降二.故水與木配.其次降三.故水與金配.其次降四.故水與土配.自降一至降四.其下亦降次以相配焉.最後五行生成.各自爲配.皆不出以相生、相繼、相克以相成.是乃五行之性.在天地之間.未嘗或乖且戾也.

名論

周天三百六十五度四分度之一.五行生成.合體而立名.不過五十有五.齊於天地之中.包斡萬物.故有

名而無位。冬至之氣起於元。轉而周三百六十四變。變尸一日。迺授於餘而終之。一六居後。在天則斗、牛、女、虛、危、室、壁之分焉。三八居左。在天則角、亢、氐、房、心、尾、箕之分焉。二七居前。在天則井、鬼、柳、星、張、翼、軫之分焉。四九居右。在天則奎、婁、胃、昴、畢、觜、參之分焉。自泯至味。十有一名。在北而屬水。自容至蒲。十有一名。在東而屬木。自蠢至考。十有一名。在南而屬火。自徙至乂。十有一名。在西而屬金。昭、一、土也。處報德之維。分王於丑、卻、庸、妥、三、土也。處常陽之維。分王於辰、范、一、土也。處背陽之維。分王於未、績、育、聲、輿、痛、五、土也。處蹏通之維。分王於戌、齊、中、土也。處大中之內。在天其北極之任乎。

變論

律呂之生。始於黃鍾。下生林鍾。林鍾上生太簇。太簇下生南呂。南呂上生姑洗。姑洗下生應鍾。應鍾上生蕤賓。蕤賓上生大呂。大呂下生夷則。夷則上生夾鍾。夾鍾下生無射。無射上生中呂。陽六爲律。陰六爲呂。以黃鍾爲宮。則林鍾爲徵。太簇爲商。南呂爲羽。姑洗爲角。應鍾爲變宮。蕤賓爲變徵。至十二律。旋相爲宮。各以七變而乘之。則盡八十四調。此聲之元。五聲之正也。至六十律。旋相爲宮。有執始去滅等名。終於南事。又以七變而乘之。則變盡周朞。各統一日。盡三百六十四變。於潛虛之中。始於裒之初。終於散之上。以定天下之吉凶。成天下之亹亹者。其用大矣。

行論

五行之在天地之間也。非特可以成變化而行鬼神。抑亦可以開物成務。冒天下以道者也。故虛敍人之

生本於虛。虛然後形。形然後性。性然後動。動然後情。情然後事。事然後德。德然後家。家然後國。國然後政。政然後功。功然後業。是數者。其用各有五。故終於五十五名。其修爲之序。可以治性。可以修身。可以齊家。可以治國。可以平天下也。故虛曰。行者人之所務也。繫之辭以明其義。用之變以尙其占。皆所以前民用也。

命論

命者。時之所遇也。吉凶否臧。雖惟命是遇。然禍兮福所倚。福兮禍所伏。禍福特未定也。以其禍福之未定。則稽疑之占。不可後也。元餘齊三者無變。皆不占。初上者。事之始終。亦不占。所占者。自哀至散五十二名。以二三四五六之變。觀其吉凶臧否平之所遇而決之。陽則用其顯。陰則用其幽。然後知其吉之大。則身其康強。子孫其逢吉。其次常吉之外。或作內吉作外凶。或用靜吉用作凶。可以觀變而避就也。

蓍論

虛數七十有五。其用七十。分二挂一。揲之以十。先左後右。徐觀其餘。以命卦名。分客主而定陰陽。且如哀之一卦。|爲主。‖爲客。左揲先餘一。右揲後餘二。是先主後客者陽。若左揲先餘二。右揲後餘一。是先客後主者陰。由是觀其所合。以哀命之。既得其名。又合蓍而復分之。陽則置右而揲左。陰則置左而揲右。揲之以七。用所揲之餘。爲所得之變。觀其命圖之上。吉凶臧否平而決之。陽則用其顯。如哀之六吉三凶不易也。陰則用其幽。與顯戾也。如哀之六吉當爲凶。三凶當爲吉也。假如元|蠢‖容|||徒||||齊××生數純

者。不可分陰陽。當置右而揲左。造丌考卅卉卅乂卅績十成數純者。亦不可分陰陽。當置左而揲右。皆揲之以七。以所揲之餘。觀其吉凶臧否乎爾。

右司馬文正公潛虛。應行嘗恨建陽書肆所刊。脫略至多。幾不可讀。及得邵武本。雖校正無差。而繇辭多闕。淳熙九載。文正公曾孫待制侍郎。出守溫陵。應行備數芹頖。獲忝門下士之列。親得公家傳善本。繇辭悉備。復以張氏發微論附之。應行再拜以請曰。願廣其傳。以惠學者。公曰。是吾志也。遂以邵武舊本參稽互考。刻之郡庠。使人人得見全書。抑何幸耶。淳熙壬寅孟冬朔日迪功郎充泉州州學教授陳應行謹跋。

潛虛述義

附錄考異

司馬光撰
蘇天木述

本館據嶺南遺書
本排印初編各叢
書僅有此本

潛虛述義目錄

卷一

總義

性圖　氣圖

名圖　體圖

卷二

行圖　元　裒

剛　雍

柔　昭　容

味　慮　聆

言　繇　嬴

覿　羅　湛

得　卻　庸

苒　蠢　訒

安　忱　詰

宜

夏

卷三

行圖

曜　特

範　績

棣　徒

準　林

章　資

績　毀

興　育

造　痛

餘　隆

齊

卷四

命圖　偶

書後　考

醜

禋

賓

乂

聲

泯

散

附圖象辨

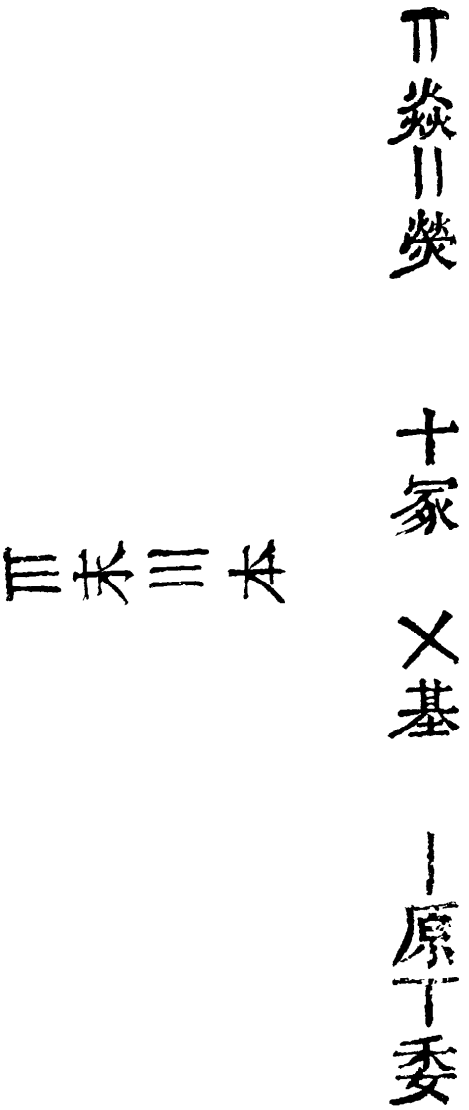
附張行成潛虛數義

潛虛述義卷一

宋涑水　司馬光　君實撰
高要　蘇天木　戴一述

萬物皆祖於虛。祖者、始生之名。混沌初開、太虛無物、天地之道、無極而太極、萬物皆從此出。生於氣。太極靜而陰氣凝、動而陽氣著、有陰陽二氣、遂生水火木金土五氣、至二五之精、妙合而凝、天地絪縕、萬物化醇、此氣化之始也。氣以成體。得陰陽之氣成男女、得五行之氣成五官、此以形體言、若體圖取象十體、則以體格言、體以受性。人備陰陽五行之體、即具健順五常之性、若性圖則以卦象布體而分五行之性、即數以言理也。性以辨名。名圖即其左體之性、視其布體之湊合而別其名、名以立行。顧名思義、順理而行、行以俟命。盡其在我、聽其在天、故虛者、物之府也。虛孕萬物、猶府藏萬有、氣者、生之戶也。物從氣生、猶人由戶出、體者、質之具也。體圖左右之川、即第一等王者、性者、神之賦也。性即陰陽不測之神、名者、事之分也。有林棘考績之名、即有君臣父子之事、行者、人之務也。命者、時之遇也。

氣圖



天木案氣圖者、五氣之圖也。一者、一也。丅者、六也。天一生水。地六成之。一、水之原。丅、水之委也。丌者、二也。丌者、七也。地二生火。天七成之。丌、火之微焱。丌、火之盛焱也。川者、三也。川者、八也。天三生木。地八成之。川、木之本。川、木之末也。川者、四也。川者、九也。地四生金。天九成之。川、金之廿。金在石中未煉者也。川、金之鋒刃已淬者也。X者、五也。十者、十也。天五生土。地十成之。X、土之基。低薄者也。十、土之家。高厚者也。是皆五行生成之數分之。觀其所分。而五行作用之力量各不同矣。若論占法。正視其力量之何如。以斷其生尅之輕重。圖內五十居中。一二三四居內。六七八九居外。與河圖同一道也。

體圖

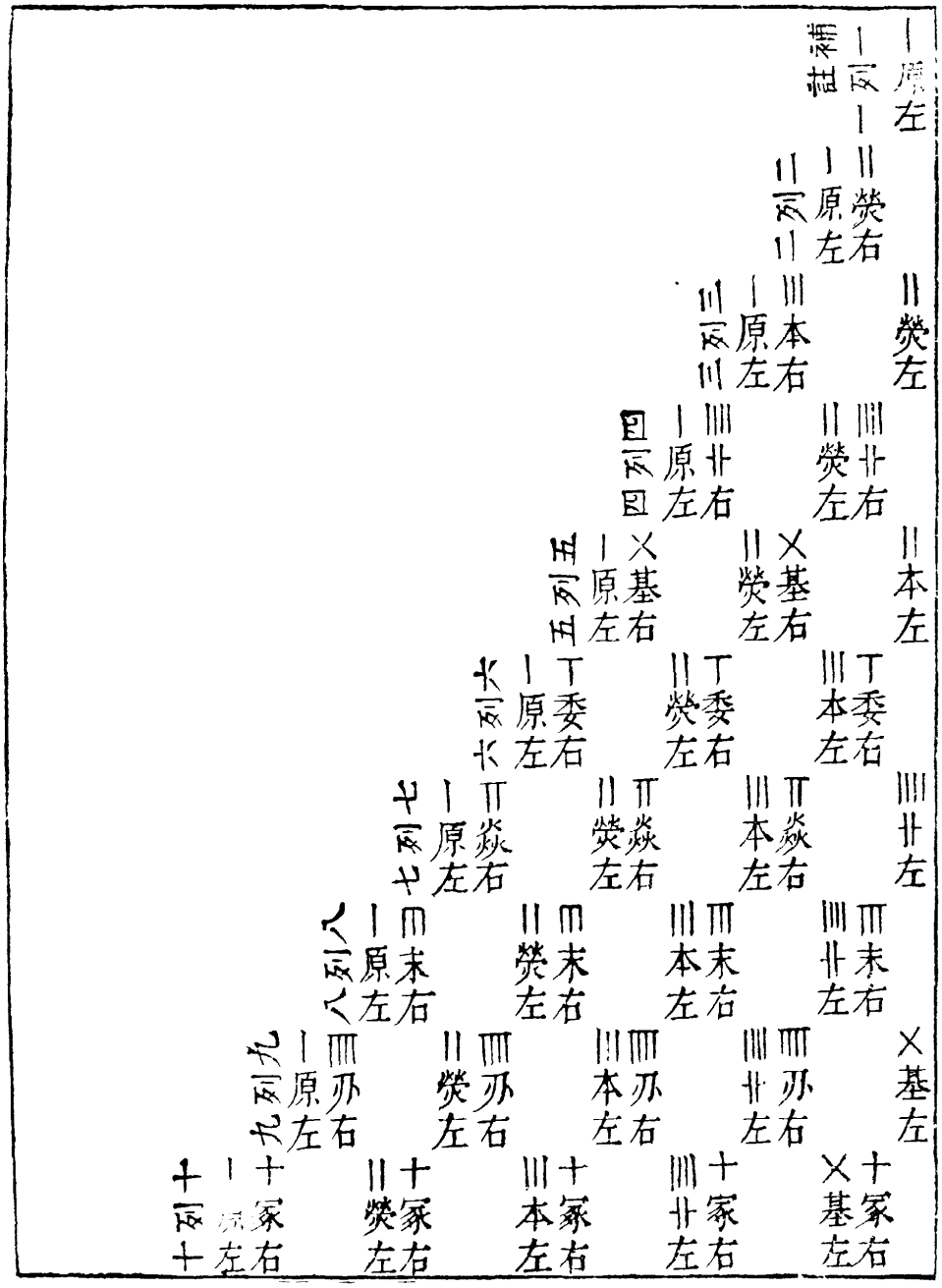
天本案體者象也圖分十層直看自上而下橫看自左而右直看則本層之數皆居右其橫布八本層之中者皆居左猶八卦摩盪之體也易體分上下此分左右此圖左右有定局若掛揲所得之先後無定局則先後無定體

庶人　十家右　十家左

士　十家右　十家左

大夫　卿　侯　卒　牧　岳　公　王

大夫	卿	侯	卒	牧	岳	公	王
亖亦右	亖末右	丌炙右	丁委右	乂基右	亖廾右	亖本右	丌熒右
亖亦左	亖末左	丌炙左	丁委左	乂基左	亖廾左	亖本左	丌熒左
十冢右	亖末右	丌炙右	丁委右	乂基右	亖廾右	亖本右	丌熒右
亖亦左	亖末左	丌炙左	丁委左	乂基左	亖廾左	亖本左	丌熒左
亖亦右	亖末右	丌炙右	丁委右	乂基右	亖廾右	亖本右	丌熒右
十冢左	亖末左	丌炙左	丁委左	乂基左	亖廾左	亖本左	丌熒左
十冢右	亖末右	丌炙右	丁委右	乂基右	亖廾右	亖本右	丌熒右
丁委左	亖末左	丌炙左	丁委左	乂基左	亖廾左	亖本左	丌熒左
亖亦右	亖末右	丌炙右	丁委右	乂基右	亖廾右	亖本右	丌熒右
乂基左	亖末左	丌炙左	丁委左	乂基左	亖廾左	亖本左	丌熒左
丁委右	亖末右	丌炙右	丁委右	乂基右	亖廾右	亖本右	丌熒右
亖廾左	亖末左	丌炙左	丁委左	乂基左	亖廾左	亖本左	丌熒左
乂基右	亖末右	丌炙右	丁委右	乂基右	亖廾右	亖本右	丌熒右
亖廾左	亖末左	丌炙左	丁委左	乂基左	亖廾左	亖本左	丌熒左
丌炙右	亖末右	丌炙右	丁委右	乂基右	亖廾右	亖本右	丌熒右
乂基左	亖末左	丌炙左	丁委左	乂基左	亖廾左	亖本左	丌熒左
亖亦右	亖末右	丌炙右	丁委右	乂基右	亖廾右	亖本右	丌熒右
丁委左	亖末左	丌炙左	丁委左	乂基左	亖廾左	亖本左	丌熒左
十冢右	亖末右	丌炙右	丁委右	乂基右	亖廾右	亖本右	丌熒右
丁委左	亖末左	丌炙左	丁委左	乂基左	亖廾左	亖本左	丌熒左
亖亦右	亖末右	丌炙右	丁委右	乂基右	亖廾右	亖本右	丌熒右
十冢

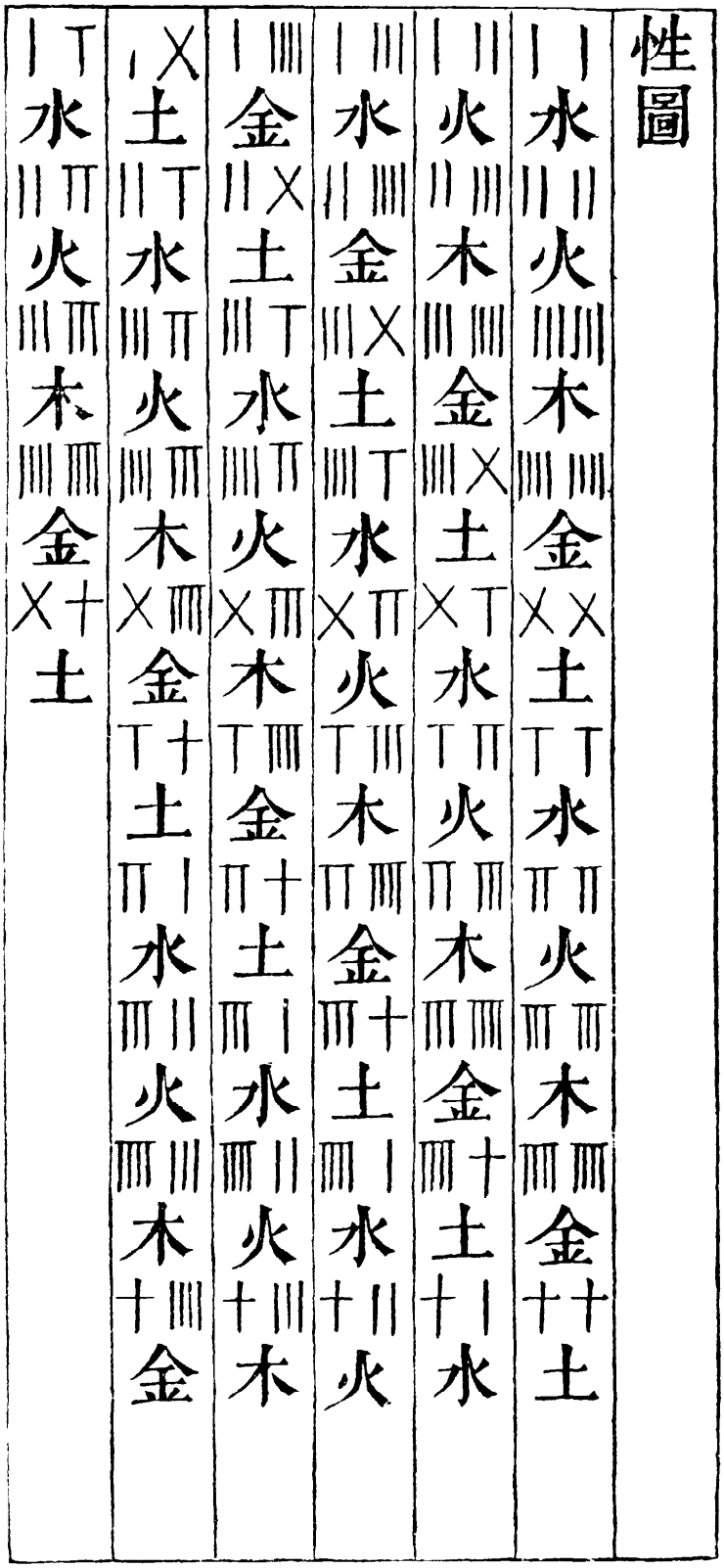

一原左
二炭右
補註
二炭左
一原左
二列二
三本右
一原左
三炭三
三廿右
一原左
四炭四
乂基右
一原左
五列五
丁委右
一原左
六列六
丌炎右
一原左
七列七
亖末右
一原左
八列八
亖卯右
一原左
九列九
十冢右
一原左
十列十
三本左
二炭左
丁委右
二炭左
丌炎右
二炭左
亖末右
二炭左
亖卯右
二炭左
十冢右
二炭左
三廿左
丁委右
三本左
丌炎右
三本左
亖末右
三本左
亖卯右
三本左
十冢右
三本左
三廿左
乂基右
二炭左
三廿左
亖末右
三廿左
亖卯右
三廿左
十冢右
三廿左
乂基左
十冢右
乂基左

一等象王．二等象公．三等象岳．四等象牧．（九州之長．入天子之國．曰牧．）五等象率．（同帥．方伯連帥．）六等象侯．七等象卿．八等象大夫．九等象士．十等象庶人．一以治萬．少以制衆．其維綱紀乎．綱紀立而治具成矣．心使身．身使臂．臂使指．指操萬物．或者不爲之使．則治道病矣．卿謂一大夫謂二士謂三庶人謂四．位愈卑．謂愈多．所以爲順也．謂雖多．不及半．所以爲正也．正順萬天隧地之大誼也．

天木按．天地之數有十．圖將天下之人分爲十等．自上而下．見王爲天下之主．志安定天下之人．故設公岳牧率．以統理天下．又設侯卿大夫士．以分治其國．有天下一家之象．自下而上．見天下庶人各受治於士大夫卿與侯．侯受治於率牧岳公與王．有權歸一統之象．

又案水爲生物之始．故十層橫布加入之體．皆始於左．——既始於左．凡本層之數皆居右．以終之．故本層之終皆左右合體．一三五七九生數二十有五．二四六八十成數三十．天地之數五十有五．故潛虛有五十五體．

性圖



凡性之序。先列十純。十純既洽。其次降一。其次降二。其次降三。其次降四。其次降五。最後五配而性備矣。始於純。終於配。天地之道也。

天木按。性圖者、因數而分五行之性也。天地之數五十有五。五行錯綜。左右湊合。亦五十有五。直看

則首十位皆自一至十。左右相比不雜。上五位生純。下五位成純。是爲十純。餘四十五位則雜而不純者。但末五位、其數雖雜。其氣相合。卽河圖生成同位之理也。圖中直看。居左者皆自一二順次而下。若橫看。首層居右者以一二三四X丁爲序。十純之後。遞降其一。如第二行以二起。一降在下。是降一也。第三行以三起。一二降在下。是降二也。第四五亦然。六行以六起。一二三四五列之於左。是降五也。此卽五配也。其所以必降者何。兩間炁朔。每有參差。正以神其變化。設皆定局。造化亦易窮矣。再看直圖之首尾。十純五配。皆順始初生成之序。統體之定理然也。中間雖遞降其一。而首尾相接如環。仍順始初生成之序。理之循環遞嬗者然也。又看圖之上六層三十五性。逐層自左而下右斜文相接。亦順始初生成之序。其下四層之成局。第七層火木金土水。與第二行同。八層木金土水火。與第三行同。九層金土水火木。與第四行同。十層土水火木金。與第五行同。前五十性不以純雜分低昂。以十純生比生。成比成。陰陽猶偏於一。若末五配則一生一成。左陽右陰。相濟猶偏。故始於純。終於配也。

又案圖末五配。生成同位。此其合序者不在言。卽前五十卦一與六兩層同順始初生成之序。二三四五七八九十層五行之變。生成之層次皆同。亦五配同位之理也。又橫看二三四五七八九十層五行之變。復與中間四直行五行之變。橫直相符。二七橫行與第二直行同。三八橫行與第三直行同。四九橫行與第四直行同。五十橫行與第五直行同也。又由圖之右上角斜挨至左下角。其五行

之斜排成列者。一水二火三木四金五土。生數順始初之序。六水七火八木九金十土。成數亦順始初之序。末六一水二火三木四金亦然。圖之橫直斜正。錯綜變化。莫非天然妙道如此。

又案十純與五配。左右本同一氣。主客如一。其餘則居右者爲本性主也。居左者順次湊合。客也。湊合各殊。則五行之性又微別矣。如水性寒。遇火則熱。火盛則沸且竭。火性烈。遇水則歇。水盛則衰且滅。如此者可以類推。

又案性圖以居右者爲五行本性。名圖行圖又以居左者分屬五行。蓋性屬靜。右、陰位。靜象也。故以居右者爲主。名圖則以五氣之流行者言。行圖又就人之所行者言。皆屬動。左、陽位。動象也。故以居左者爲主。

名圖

天木案・名圖者、卽其性之體象而名之也・原圖不列八卦・今補註文王八卦・以明周歲卦象之行・命名之義・疏於行圖・

一六置後．北水二七置前．南火三八置左．東木四九置右．西金通以五十．中土五行叶序．印仰而瞻之．宿躔從度．印則

爲蒐頫則爲陰印得五宮。天文五星頫得十數。河圖之數元餘者、物之始終。故無變。齊者、中也。包幹萬物。故無位。此言圖之體象。及行圖無變爻。此無定位之故。與冬至之氣起於元。轉而周三百六十四變。每卦七變爻。五十二卦之變如此數。變尸一日。尸。舒也。人死骨節解舒。不能自支。此指已散之後言也。迺授於餘而終之。以無天軌。指齊言以協歲紀。人之生本於虛。然後形。形然後性。性然後動。動然後情。情然後事。事然後家。家然後國。國然後政。政然後功。功然後業。業終則返於虛矣。故萬物始於元。著於裒。存於齊。消於散。訖於餘。五者形之運也。柔剛雍昧昭。性之分也。容言慮聆覿。動之官也。繇憐得罹溤耽。情之誡也。芮前卻庸妥蠢。事之變也。訒宜忱詰戛。德之塗也。特偶曖續考。家之綱也。范徒醜隸林。國之紀也。禮準資賓帝。戎政之務也。斁理即乂。績育聲。功之具也。與痛泯造隆。業之著也。爲人上者。將何爲哉。養之教之理之而已。養之、故人賴以生也。教之、故人賴以明也。治之。故人賴以乂也。夫如是。故人愛之如父母。信之如卜筮。畏之如雷霆。是以功成而名自立也。夫爲人上而不能養。則人離叛矣。養而不能教。則人殺亂矣。教而不能治。則人抵捍矣。三具者亡而祈有功名。可得乎。

天木案此圖以五氣流行之序言。而以萬物始終之序配之。五行合體。共五十五。五行分屬。各有十一。皆以左體爲主。其分列四正者。皆如河圖。一六居北爲水。二七居南爲火。三八居東爲木。四九居西爲金。北方亥子皆水而陽生於子半故一爲生物之始。一居北之左者六。元哀柔剛雍昧是也。Ⅲ之居東者六。Ⅲ之居東者五。容言慮聆覿。繇憐得罹溤耽。是也。Ⅱ之居南者六。Ⅱ之居南者五。蠢訒宜忱詰戛。特偶曖續考。是也。Ⅲ之居西者七。Ⅲ之居西者四。徒醜隸林。禮準資賓帝。斁乂。是也。丅居

北之右者五。泯造隆散餘。是也。此居四正者之各有十一也。若土則寄旺四季。分列四隅。Ⅹ𝍐昭居東北屬丑土。𝍐Ⅹ卻十庸Ⅹ𝍐妥居東南屬辰土。Ⅲ𝍐Ⅹ范居西南屬未土。十十績十丨育十𝍐聲十𝍐興十𝍐痛居西北屬戌土。ⅩⅩ齊則居中央而爲土之祖。四隅及中土亦有十一也。至報德背陽常羊號通之名。據淮南子天文訓。東北爲報德之維。西南爲背陽之維。東南爲常羊之維。西北爲號通之維。高誘曰。陰氣極於北。陽氣盛於東。自陰復陽曰報德。西南已過陽將復陰。故曰背陽。常羊、不進不退之貌。純陽用事。不盛不衰也。西北純陰。陽氣閉結將萌。號始通之。若論圖象。以Ⅹ𝍐昭生入爲報德。以Ⅲ范陰木尅陽土爲背陽。以𝍐Ⅹ卻十庸T妥皆陽土。又無尅入傷陽。爲常羊。十丨育十𝍐聲十𝍐興十𝍐痛以體圖之。十十十十之爲丨𝍐𝍐𝍐相通而號爲土。義亦可通。在人善會耳。

潛虛述義卷二

行圖

天木案行圖者分別行事得失品行不同也

一 元 天地之運始於元・天地之數始於一・五行之生始於水・水卽一也・一卽元也・

元、始也、夜半、日之始、朔月之始、冬至、歲之始、好學、知之始、力行、道德之始、任人、治亂之始、愼於舉趾、差則千里、機正其矢、愼於舉趾、差則遠也、

愼於舉趾 欲無悔吝・其始先愼・

二二 裒 水火原不相射・在地者相得有旣濟之能・在天者日月卽水火之精・運行雖殊・朔則會合・有裒象焉・

裒、聚也、氣聚而物、宗族聚而家、聖賢聚而國、初、進而逡、而俟其信、而利用正、

聚不可苟、必進逡也、 聚以正・猶俟信・勿遽進・

二、人倮而繁、獸猛而殫、

人倮而繁善以道羣也。
善聚則昌。
猛聚則亡。
三百毒之聚祇害人也。
小人有勢。
君子遠避。
百毒之聚勝者爲主惟物之蠱。
四羽毛鱗介各從其彙。
羽毛鱗介聚以倫也。
聚必以倫。
勿近小人。
五蒐絲之梦附草絕根。
蒐絲之梦不知固根也。
倚賴若非。
終無可依。
六八音和鳴神祇是聽。
八音之哀感人神也。
聚而能和。
福祉日多。
上雲還於山冰泮於川。

雲還流泮聚極必分也。聚極必分。各歸其羣。

☳柔水性柔。初生之木亦柔。

柔地之德也。臣之則也。天爲剛矣。不逆四時。君爲剛矣。不却嘉謀。金爲剛矣。從人所爲。故剛而不柔。未有能成者也。

初馬牛服役。左右殫力。

馬牛服役。臣職宜也。卑賤之職。柔順効力。

二遽蔡戚施盜跖之祈。或得其笞。

盜跖之祈。靡不爲也。或得其笞。爲主所知也。俯仰祈求。柔媚招尤。

三齒剛必缺。久存者舌。

齒缺舌存。久剛必危也。寓剛於柔。其用無窮。

四蜚石之落。抗之以幕。

磊石之落。強不能支也。
彼勢太兇。忍避其鋒。
五。太柔如水。利物無已。
太柔如水。不與物違也。
體貼圓融。利澤周遍。
六。蒲梁。毂。傾壞脫輻。
蒲梁。毂。任重力也。
柔弱匪材。任重必顛。
上。綴旒委靡。政不在已。
綴旒委靡。君道非也。
太柔無威。權必下移。
剛　水性雖柔。生於天一。實稟陽剛之氣。又湊
一　剛合剛金。轉來生水。具有浩然莫禦之勢。
剛、天之道也。君子之守也。地爲柔矣。負戴山岳。臣爲柔矣。正直諤諤。水爲柔矣。頹厓穿石。故柔而不剛。未有能立者也。
初。偃王無骨。莫之自立。

人之有骨以自立也。
人不立志。事鮮有濟。
二。不忍小辱。自經溝瀆。
剛不忍氣。聖賢不貴。
自經溝瀆。小人決也。
三。目瞋耳塞。拔木觸石。一跌而踣。螻蟻之食。
一跌而踣。不復振也。
剛躁一跌。萬事瓦裂。
四。金與玉軸。履險不覆。
金與玉軸。任重載也。
持重溫文。保泰亨也。
五。介然自守。其要无咎。
其要无咎。中寡慾也。
秉正之則。可無召咎。
六。金精百鍊。有折無卷。

有折無卷。質不渝也。
節操堅貞。不變生平。
上。歐冶鑄劍。利用加錫。
利用加錫。剛過則折也。
剛濟以孝。敷政優優。
乂雍水性善下。土德柔順。合爲一體。有和諧意。
雍、和也。天地萬物之性。不剛則柔。不晦則明。通而行之。其在和乎。
初。匪飛匪潛。出門交有功。
出門交有功。尙和也。
交友集益。不陵不激。
二。柳下惠不易其介。伯夷怨是用希。
夷清不偏。惠和不流。
平心觀理。中立不倚。
三。玉質金聲。利用陳於帝廷。
玉質金聲。有嘉德也。

祖龍以申名舉以隆。

四。猉猉頷頷。無施而適。摶沙雜礫。舒席卷棘。

猉猉頷頷。不可如何也。人而不和動起干戈。

五。鬻者減。求者增。卒會于平。

鬻減求增。損多益寡也。不偏不頗務適於和。

六。鹽梅不適。羹棄不食。

鹽梅不適。性有頗也。率性而前事壞一偏。

上。天地融融。萬物雍雍。

天地融融。萬物和也。和以養人萬物皆春。

下。昧一六居北。於時爲冬。陽氣潛藏。事宜養晦。

昧晦也。日之晦。晝夜以成。月之晦。弦望以生。君子之晦。與時偕行。

初。取足於己。不知外美。

取足於己。所以昧也。（今身存理。聞譽勿喜。）

二。日匿其光。僕於東方。

日匿其光。未耀也。（用晦其明。有待而行。）

三。鐵目石耳。蹈于淵水。

鐵目石耳。不時導也。（不知引退。不可教誨。）

四。冥行失足。或導之燭。

或導之燭。能受教也。（昧能受教。終獲其效。）

五。無相之音。闔戶而處。

闔戶而處。未失道也。（助我無人。自守其身。）

六、不習而斲、損材毀樸、
不習而斲、不免咎也、
不宜輕斲、
因丁丌龜、
七、偶人守金、衆盜攸侵、
以昧居上、必有盜也、
任事無知、
人胡不欺、
XII 昭 五爲中土、七之烈火、
然於其間、萬象昭然、
昭、明也、天地之明、靡不察也、日月之明、靡不燭也、人君之明、官羣才也、恒有皇也、懋有功也、
初、奩其鑑、拂其塵、覿其形、
奩鑑拂塵、以自照也、
去欲存誠、
其明自生、
二、隋珠照夜、不如膏燭、
珠能照夜、不可常也、
倫理之知、
勝於高奇、
三、窒窮秋毫、物駭而逃、

察窮秋毫物所駭也。太察無徒何必區區。

四鑿壁偷光厥志惟勤爭畀之燭鑿壁偷光善借明也爭畀之燭遂光大也有志求明人樂玉成。

五循牆不蹶秉燭而跌秉燭而跌恃明懈也予智不愼大禍小吝。

六日麗於天萬物粲然日麗於天無不照也至誠之明物無遁情。

上火宿於灰火宿於灰善養明也有誠不矜善養其明。

Ⅷ容　嫩木相並。枝榦齊整。人有威儀似之。容

Ⅲ容以一身威儀言。下爻卦以名分體統言。

容、貌也。尊卑有儀。軍國有容。捨之則龐。

初。修而貫。而久而安而。

修容有常。久則貫也。

威儀是力。始終勿息。

二。葉苗音末夷俟。不若遄死。

葉苗夷俟。不可忽見也。

人而無禮。胡不遄死。

三。頯面不飾。

頯面不飾。質不變也。

小人自飾。君子任質。

四。褧衣錦裏。君子養美。

褧衣錦裏。不自絢也。

人必充美。志存爲己。

五。如圭如璋。以和以莊。

以和以莊。容之善也。

和敬之容。令德在中。

六。朱襮紫裏。服久必敝。朱襮之敝。其裏見也。暴外輝煌。的然日亡。

上。樛木之乘。甘瓠之纍。木之瓠纍。貴下賤也。人能善下。百祥自迓。

附 言木金合體。象似木鐸。舌動發聲。如人能言。

言。辭也。有害有風。天心始通。有號有令。君心無隱。有語有言。中心乃宣。

初。壺囊之口。可用以受瘖者之食。稻粱之賊。

稻粱之賊。言不可已也。言之無文。何以彰身。

二。人不我知。饋金而疑。饋金而疑。人弗信也。不知必疑。且莫言之。

三、不固其關、禍溢浮天、
禍溢浮天、不可收也、
妄言招禍、
樞機自我、
四、天信其時、萬物攸期、
萬物攸期、素信之也、
平素不欺、
信在平時、
五、庸言之謹、必顧其行、
庸言之謹、以立誠也、
立誠之言、
從不妄宣、
六、時言之利、上下攸賴、
上下攸賴、其利溥也、
言中利弊、
可以維世、
上、言由於德、弗思而得、萬世之式、
言由於德、作意之也、萬世之式、當於理也、
理明辭達、
爲後世法、

X 慮 木根尅土・無處不入・
卌 猶人思慮・無處不通・

慮、思也。聖人無思。自合於宜。賢者之思。以求其時。臨事不思。不能研幾。學道不思。不能通微。初。秋毫差機。矢不可追。秋毫差機。切宜愼也。
人禽之間・一念所關・

二。旁瞻千里。卻顧百世。旁瞻卻顧。所慮遠也。
按理細忖・可及久遠・

三。澄源正本。萬術盡也。澄源正本。執天之鍵。
存誠主敬・發念自正・

四。林甫月室。慍入笑出。匪躬之益。匪躬之益。終自及也。
不軌之謀・究自貽憂・

五。萬物之神。出天入塵。

出天入塵無不藝也（萬有不窮・思之皆通・）六謀利忘寢商賈之任謀利忘寢思不遠也（小人思利・君子思義・）上孔子從心從心不踰矩孔子從心從容中道也（醇乎其醇・百慮皆眞・）聆（丌位于巛震・震爲雷・丁位于巛坎・坎爲耳・雷震則耳聞・）聽也天下其耳舜達四聰聽而不聞是謂耳瞶（瞶當作聾）聞而不擇是謂耳聾（聾當作瞶）所以王者聽德惟聰君子非禮勿聽初聽德惟聰否不若瞶（瞶當作聾・叶上・觀解圖可見・）否不若聾聞無益也（惡聲亂耳・辨之以理・）二莊纐弗徹舜聰四達

舜聰四達。聰不蔽也。
先養甘聰。心與理融。

三。甘言便耳。沒於淵水。
甘言便耳。不可悅也。
甘言是疾。好諛則失。

四。苦言刺耳。惟身之利。
苦言利身。不可惡也。
苦言當藥。自知其惡。

五。卑聽惟順。擇其利病。
擇其利病。由乎心也。
羣言立採。擇從與改。

六。蟻鬬聞聲。惟邇言是聽。
邇言是聽。心不逮耳也。
邇言是聽。心蔽弗靈。

上。聖人無擇。惡聲不入。

惡聲不入耳不順非也。聖心有主。惡言難蠱。

Ⅱ覿木旺火相。木又生火。明無不見。

覿、視也。天高其目。舜明四目。視而弗見。是謂目盲。見而弗擇。是謂心瞽。所以王者視遠惟明。學者非禮勿視。

初。粉澤之輝。覆窄埋機。昧者不知。目誘之也。紛華在目。禍機之伏。

二。項楚姚虞。形似心殊。形似心殊。明不在目也。人心之靈。其明自生。

三。馳車擊轂。自掩其目。坦途猶覆。自掩其目。不能視也。征遂匆匆。不顧則凶。

四。虎視眈眈。其心譚譚。

其心譚譚。審所視也。審其所視。欲不敢肆。

五。蘧蒢戚施。俯仰相疑。俯仰相疑。任偏見也。所見不全。未可與權。

六。漆器象箸。因微知著。離婁之明。視細猶巨。視細猶巨。明辨晳也。見微知著。制之以豫。

上。凝旒十二。惟目之蔽。同仁一視。凝旒之蔽。不用目也。能養其明。洞見物情。

Ⅲ Ⅲ絲春木生成。欣欣向榮。人事如此。其喜可知。

絲、喜也。天地同春。萬物欣欣。聖賢相逢。四海歸仁。

初。凱風怡怡。萬物熙熙。

凱風怡怡。怒氣散也。萬物熙熙。無疾憊也。

和煦如春。善氣宜人。

二。悅之匪人。步于幽棘。覆車陷輪。悅之匪人。徇所愛也。喜非其人。禍及乃身。

三。爰笑爰語。神親心與。弗喪其斧。弗喪其斧。未失則也。當喜而喜。樂只君子。

四。聞謗而喜。反求諸己。聞謗而喜。以從道也。反求諸己。釋回增美。

五。喜怒以律。愛惡不失。大人元吉。大人元吉。不失律也。喜得其宜。與物無私。

六。賞溢於喜。重器是委。或顛而毀。賞溢於喜。愛人從政也。

喜過其節・
顧覆毀製・

上・爵祿錫予・飾喜之具・惜印吝金・人委而去・
爵祿飾喜・不虛拘也・惜印吝金・人失望也・
爵祿無實・
虛喜多失・

𠀋 棟梁大木・斧斤戕之・正人君子・奸宄擠之・小民生計・强梁敗之・同可怒也・
𠀋 懠・

懠、怒也・天地之怒・風霆橫飛・王者之怒・爰整六師・君子之怒・暴亂是夷・小人之怒・適爲身菑・
初匪怒之適・必理之求・拔劍難收・
必理之求・先慮後斷也・
憤則思難・
胸無冰炭・

二・自怒自解・人不之畏・
自怒自解・威已玩也・
喜怒無常・
或受其殃・

三・快心一朝・忘其宗祧・失不可招・鯧鰍之浮・烏鳶之求・
快心一朝・忘後患也・
逞忿覆宗・
自罹其凶・

四、雷霆赫赫，厥氣是用，息狼瞫死國。

雷霆赫赫，以止亂也。
怒以止亂。
志遂其願。

五、有衆有刑，怒然後興，無刑而怒，止取嫚也。
手無斧柯。
奈龜山何。

六、忍之少時，福祿無期，忍之少時，乃免難也。
懲忿之功。
爲益無窮。

上、風雷既息，繼以沛澤，風息而雨，羣物滌也。
義正仁育。
物受其福。

十四、得
物受我尅。所欲皆得。
木之尅土。有得象焉。

得欲也。牝牡飲食，禽獸之識，宮爵財利，僕隸之忌，欲仁求仁，入自聖門，初耳目鼻口，外交中誘，惟心之咎。

外交中誘心不君也。
天君作主欲不踰矩。
二以禮制心成湯之德。漢高入關弗徇貨色。
弗徇貨色智之事也。
知者利仁守正如珍。
三聖人循理百物不廢其心無累。
其心無累過不留也。
未嘗矯情亦不溺情。
四豨腹饕饕爲人益膏。
豨腹饕饕貪欲不厭也。
谿壑難盈自戕其生。
五守常知足不危不辱。
不危不辱又何求也。
知命樂天其樂陶然。
六不學無義惟飲食牝牡之嗜禽獸之斃。

禽獸之斃猶可食也。
逐外忘義。爲衆所棄。
上鴟爭腐鼠鵷雛弗顧。
腐鼠弗顧乃可貴也。
富貴浮雲。自得天眞。
一曜成林大木。水澤無多。猶之欲宋王善。一薛
曲曜居州。衞民既庶。富敎不謀。豈得無憂。
懼憂也。知命樂天無憂則賢。樂天知命有憂則聖。若夫涉世應事。則有常理。始於憂勤。終於逸樂。人無遠
慮。必有近憂。
初飽食無憂。衿裾馬牛。
衿裾馬牛人必有憂也。
朝乾夕惕。修業進德。
二巨艦之戕。衝風激波。濟於江河。先哭後謌。
先哭後謌憂則有喜也。
身世兩大。敬愼無害。
三火在薪下。安寢不懼。

安寢不懼．無所知也．（怠惰昏迷．安而忘危．）

四．德誼不積．惟躬之戚．

德誼不積．賢者之憂也．（志存盡性．憂得其正．）

五、嫠婦之悴．匪知其緯．

嫠不恤緯．知所憂也．（兼善天下．道在賢者．）

六．杞人蚩蚩．憂天之墮．

憂天之墮．亦過計也．（畏首畏尾．身其餘幾．）

上．周規孔制．後世之計．

周規孔制．憂後世也．（憂及後世．聖賢之計．）

Ⅲ湛（木生火以抒其能．火得木以益其明．豈不樂哉．）

湛、樂也。以欲亡道。戚而不樂。以道制欲。樂而不亂。去欲從道。其樂也誠。

初。利用作室。罔憚于勤。大廈以成。婦子欣欣。

婦子欣欣。享其安也。

修齊治平。樂觀厥成。

二。萬民不區。守業安居。形苦心愉。

形苦心愉。內自適也。

隨分力作。外勞內樂。

三。醉飽之悟。歌舞之紛。突火將焚。盜倚其門。

醉飽之悟。忘躬之戚也。

耽樂失度。禍生日暮。

四。酒食衎衎。威儀反反。繩墨不遠。

酒食衎衎。以禮自防也。

以禮自防。好樂無荒。

五。不勤厥畝、喪其稷黍。

不勤厥畝。無以食也。

不盡厥職・欲樂不得・

六・家有韶濩・外忘其慕・

家有韶濩・樂道德也・不愧不怍・斯爲至樂・

上・王用宴于鎬京・

鎬京之宴・樂以天下也・運際郅隆・其樂大同・

Ⅲ茂樹並生・枝榦遠揚・日進無疆・

Ⅲ莽進也・駑馬日進・騏驥可及・學者日進・聖門可入・爲國日進・功業可得・險途冒進・或至于踣・

初・莽非獲已・進寸退尺・飾其金履・

莽進之初・不可不愼也・跬步勿輕・舉止兢兢・

二・盲人操舟・乘彼湍流・

盲人操舟・禍在不振也・進不識幾・敗以遲疑・

三、日出而征、日沒而息、君子之則、

君子之則、出處順也、

用行舍藏、何用不臧、

四、兔跳而踶、烏飛而伏、弧張肘縮、

兔跳而踶、以退爲進也、

欲進勿亟、先養其力、

五、主人三速、日中必暴、天時不逐、

主人三速、往勿問也、

當進卽進、乘時發動、

六、駑馬之疲驥馬之追、鷇羽強飛、隙于藩籬、

駑馬追驥、力疲盡也、

事不量力、欲進弗得、

上、日沒而征、力憊而登、遇棹反兵、

日沒而征、危辱近也、

昧時妄逐、必致于辱、

卌卌金爲刃・兵象也・土宇平寧・進X卻卌卌可有成・地逢劍戟・退步不易・

卻、退也。日月進退。晦明以成。寒暑進退。品物以生。君子進退。功名以彰。

初。一葉于蜚。陰始長也。

一葉于蜚。陰始長也。事宜見幾・預防其微・

二。納履而顧。心留迹去。

納履而顧。心有望也。接淅而行・去就之明・

三。唾面不辱。叱咤不縮。或擠諸谷。

唾面不辱。顏之強也。當退不退・自貽後悔・

四。雲蜚于江。舟藏于浦。雷出于山。車稅于宇。

雷蜚于江。識微象也。幾兆於彼・一見卽止・

五。揖之則舟。麾之則止。無慍無喜。

揖蒂麼止動不妄也。
難進易退淡然無累。
六膳珍不御致鼎而去勿須其沃。
膳珍不御志不享也。
既得愚失君子所疾。
上龍登于雲垂尾之卷下人式瞻。
垂尾之卷終可卬也。
海濱待清救時之情。
十
X庸地道安貞得主有常縱有消長不易其方。
庸常也日月運行不差旦暮四時變化不愆寒暑君能下下不失其尊聖賢達節不亂其經。
初天地之德變化無極四時不忒。
變化無極終有常也。
天地如斯人事可知。
二井泉之渫汲者不絕。
井泉之渫常可久也。

潛澈有常。
應用無疆。

三。岳鎭之巍。無增無虧。
岳鎭之巍。善保常也。
品行常存。
名望永尊。

四。叡楊沃水。一日十徙。
一日十徙。不能以榮也。
人而無恆。
萬事不成。

五。晝作夜息。寒耕暑織。小人其職。
小人其職。君子治也。
各修常職。
隨分皆得。

六。井污而久。蟊幕其口。
井污而久。不知變也。
狃常不變。
日流污賤。

上。魚跳失水。困于螻蟻。
魚跳失水。不安常也。

人不安常。自召其殃。

丁X安、安靜也。息也。日息于夜。月息于晦。鳥獸息于蟄。草木息于根。爲此者誰。曰天地。天地猶有所息。而況於人乎。

土靜水動。上復制水。動亦皆靜。

初。藏心於虛。非有非無。其樂于于。

藏心於虛。不假物也。

主敬中虛。不落方隅。

二。止水之清。鑒物而明。

鑒物而明。得所止也。

水止則明。人靜此靈。

三。窮黷之腐。種污攸聚。

窮黷之腐。不能擇居也。

居污致敗。不靜何怪。

四。馴鹿籠鸚。由習得成。

由習得成。制而心也。

五居則鬱鬱動則愈屈吉人之得躁人之失
制躁歸靜功成于永
吉人之得以待時也
藏器待時君子居之
六鼉匐于泥不能鳴飛
鼉匐于泥志在污也
忘緩優游自甘下流
上雷伏于地或震于天火伏于灰或燎于原
雷震火燎因時勢也
靜中之動因時作用
‖蠢動也天之動晝夜以行地之動草木以生聖賢之動功業以成
‖蠢兩火並生其談上動
初陽氣潛萌動在中也
陽氣潛萌品彙咸生充牣乾坤
靜極復動發生必衆

二、新居之徒、舊居之棄、不如其已、

新居之徒未有利也、棄舊闢新、何以使人、

三、狙入於罔、跳梁俯仰、

狙入於罔、躁益躓也、妄動無功、困卽隨之、

四、據于蒺藜、欲去何之、不去何爲、去或得歧、雖無所之、不可處也、既失其宜、別圖所之、

五、鑿凍樹穢、勞而無得、

鑿凍樹穢、徒自勤也、雖有鎡基、不如待時、

六、樹穀於雨、拔草於暑、

樹穀於雨貴及時也、審機相時、事得其宜、

上洗心藏密龍蛇其蟄利用無極

龍蛇之蟄以存神也

動中有靜・神存志定・

☳☳屬春木之初・☲屬夏火之初・春生夏長・皆好生之德・有仁道焉・

訒仁也天地好生秋不先春王者尚恩德先於刑人無惻心虎狼奚異擴而充之同仁一視

初牽牛覺鐘惻于厥心

牽牛惻心仁之祖也

求仁之端・養心爲先・

二養虺縱蝗匪仁之方

養虺縱蝗失所與也

賊臣悍僕・奸宄勿畜・

三工不踰閾車成轢轍

工不踰閾冥中度也

仁心皆同・保守擴充・

四青蠅白刃利以征亂

青鑒白刃。斷以誼也。
干戈安民。義以成仁。
五。赤子在谷。丈人濡足。
赤子在谷。濡不避也。丈人處顛危。褰裳救之。
六。推與濟人。不知杠梁之成。
推與濟人。惠不大也。大德務徧。小惠未善。
上。至德如春。浹于無垠。莫知其然。
仁道大成。萬物遂也。至德之仁。四海皆春。
𠀋宜義於五行爲金。廿金火煉。運用咸利。猶以義制事。各得其宜。
宜誼也。君子有誼。利以制事。事無常時。務在得宜。知宜而通。惟義之功。闇宜而執。亦義之賊。所以天地當就。不廢肅殺。君人用刑。不害慈愛。
初。盜跖莊蹻。諱聞其惡。

跼蹐諱惡。有羞惡也。羞惡同心。事在擴充。

二。守爾庖魚。喪爾囊珠。匪愚則迂。喪爾囊珠。所失大也。舍義徇外。得小失大。

三。徇利遺節。託名以說。汙予斧鉞。託名以說。以欺世也。假大義名。聖王罪人。

四。名駒大輅。安行正路。疾徐中度。疾徐中度。不失節也。取義既精。大道安行。

五。李催殺身。無所成名。李催殺身。不可爲名也。行不合義。死何足貴。

六。斷臂納肝。毀形殘生。惟心所安。

毀形殘生義无咎也。
義結肺肝。毀形亦安。
上徇義之大手足無愛。
手足無愛大得宜也。
舍生取義。眞性所繫。
X 忱信於五行屬土。萬物不能離土。猶人不
II 忱可無信。火能生土。猶人之必敦信也。
忱、信也。天地信而歲功成。日月信而歷象明。人君信而號令行。人臣信而邦家榮。苟爲捨之。未見其能久長者也。
初可用交。勿恤其孚。後有徒。
勿恤其孚。自誠也。
誠信可孚。化及豚魚。
二言無夸善。懼不能踐。
言無夸善。省華□實也。
虛夸失實。行無所得。
三天道難測。四時不忒。下土之式。

下士之式。人信之也。
至誠不欺。人盡信之。
四。父子乖離。吐心而疑。禍不在辜。
父子乖離。不知其可也。
骨肉相疑。禍輒隨之。
五。硜硜之信。小夫之謹。
小夫之謹。可爲民也。
硜硜之信。小信必吝。
六。小信之必。大義之失。君子不由。
君子不由。輕重權也。
方而不圓。未可與權。
上。堅城捍外。彊堤遏水。革囊浮海。漏不在大。
城堤浮囊。不可不完也。
詐僞宜戒。小失必敗。
丅 ‖ 火離明。丅水能鑑。
‖ 詰 ‖ 丅 合體。皆明象也。

詰、智也。經天緯地。必存其理。智者見之。心閒事濟。鑿以爲巧。詐以爲奸。聖門論智。其說不然。

初。益薪火發滌穢泉洌。

益薪滌穢。務學祛蔽也。

即物窮理。其智自啓。

二。斧斤顓顓。梓匠之從。

梓匠之從。小役大也。

見理無疑。百體從之。

三。盜兵利。吏不制。

盜兵利。祇益害也。

小人多智。其惡益熾。

四。動若流水。惟物之利。

流水之動。以利物也。

明勤不括。利濟活活。

五。務本安分。金石其命。

務本安分。知保身也。

知明守定。可以永命。

六。狙鼠狡譎。志在竊食。

狙鼠狡譎以竊食也。狡猾之智。祇以取利。

上。神禹濬川。行其自然。

行其自然。不爲鑿也。神禹大智。行所無事。

Ⅱ 禮於天道爲亨。五行屬火。夏火令萬物亨通。各遂其情。猶嘉會合禮。各如其分。

Ⅱ 戛禮也。天高地下。制禮之經。尊隆卑殺。飾禮之文。人不知禮。進退無度。手足罔措。國不閑禮。紀綱不舉。四鄰之侮。

初。仰天俯地。正名辨位。以定民志。

仰天俯地。名位辨也。禮別尊卑。以立綱維。

二。皺衣皺形。猶愈裸裎。

皺衣皺形。猶愈無也。

少存規矩。勝于豺虎。

三。衣冠周孔。揖遜發冢。揖遜發冢以飾奸也。貌儒心賊。爲鬼爲蜮。

四。掣牛之狂。服畝遵場。掣牛之狂。能自制也。以禮範人。導之以身。

五。偶人粉澤。偶人粉澤。徒飾外也。堂堂之人。難與爲仁。

六。斐如煌如。紀如綱如。四海王如。斐如煌如。王者事也。禮敎修明。衆志成城。

上。男女貴辨。嫂溺則援。嫂溺則援。禮有權也。

禮有經權。莫執一偏。

潛虛述義卷三

行圖

特・匹也・亦獨一無二之意・夫爲婦特・從一而終
特・生死不二・木之生火・自灰不顧・其理近焉・

特夫也天氣下降地資以生日光旁燭月借以明夫和而正婦聽以行是謂天地之終陰陽之義人道之始

初桃李之衰情懌心悲松筠之思

松筠之思晚無及也
盛衰必至・貞操勿二・

二有寤在牢或投之刀先笑後號

先笑後號不永終也
忍棄其夫・老去長吁・

三夫剛而令婦順而聽

夫剛婦順末失常也
夫令婦聽・家之準繩・

四．閨門雍穆．靡歌靡哭．
靡歌靡哭．得中節也．
家門和敬．夫婦以正．
五．德禮不貳．舜嬪嫣汭．
德禮不貳．以身先也．
以禮以德．一家順則．
六．鉛刀析薪．折齒餘斷．
折齒餘斷．不可用制也．
夫綱不立．閨門褻狎．
上．枯楊生華．老夫得其女妻．蛇入燕巢之悲．
枯楊生華．可可久也．蛇入燕巢．必敗家也．
滋情縱慾．先笑後哭．
Ⅲ　偶　上卦陰木生陽火．婦助其夫之象．故屬丈夫．此卦南火尅
Ⅱ　偶　西金．夫制其婦之象．故屬配偶．辛金乃丙火之妻也．
偶、妃也．天能始事．地實以終之．陽能生物．陰實以成之．有夫無婦．中饋孰主．所以咸先於恆．男下於女．
初．嗜酒之甘．不知沈醉．虺蛇是長．末或成蠆．

末或成蠐。不早辨也。
耽於色慾。必中其毒。
二。忌疾貪鄙。徇情黜理。徇情黜理。不服訓也。
恃情專寵。禮法難用。
三。牝雞司晨。惟家之索。牝雞司晨。反常也。
婦專其柄。陽衰陰勝。
四。地柔而靜。品物咸正。地柔而靜。順承天也。
婦承夫令。婦正家正。
五。無非無儀。中饋攸司。中饋攸司。未失道也。
謹敏才識。勤修婦職。
六。宣王晏起。姜后請罪。

姜后之請。警戒相成也。
內助成德。閨範可式。
上。君王后治齊。不可用正。呂武用不可用正。婦人從子也。
夫死從子。勿與綱紀。
十曌
五行相生。皆有親愛之意。惟火生土中。情常熱。故名曌。
曌、親也。疏者必疏。親者必親。事之常理。人之常情。苟違其常。心安可怙。識者畏之。如避豺虎。
初。九族咸聚。省躬之故。
省躬之故。知所從也。
因源及流。報本之謀。
二。象封有庳。食而弗治。
食而弗治。弗私以政也。
善爲處置。恩中有義。
三。竹枯不拔。蚿死不蹶。
竹蚿之安。輔之多也。

能篤所親。羣輔一人。

四。條亡柄存。或斧之根。條亡柄存。見者執柯也。親族孤兒。葛藤之依。

五。父母妻屬。等衰以睦。等衰以睦。示不同也。情誼並親。尊卑必分。

六。割臂斮足。易之金玉。其肌不屬。割臂易玉。棄親卽他也。其肌不屬。人於汝何也。親疏倒施。人情乖離。

上。堯舜親親。萬國興仁。萬國興仁。大成也。親親之隆。天下同風。

丨火爲木子。火自制金。不使尅木。又藉右體之水。

丌續外洩。令烝。內以生木。有備盡子道以續父業之象。

續子也。繼續者。子之事也。堯父舜子。二者難全。與其父智。寧若子賢。所以舜生商均。虞祚不延。鯀生神禹。祀夏配

天。

初。絡馬首。穿牛鼻。利用以早。

絡馬穿牛。幼易馴也。
早制易舉。
敎子其一。

二。父壞其土。子終厥畝。叶姥。

子終厥畝。能紹先也。
子承父業。
象賢之傑。

三。害子滿腹。不如蜾蠃之不育。

害子滿腹。害厥生也。
豺狼之凶。
羊舌滅宗。

四。飯菽羹藜。父母怡怡。

父母怡怡。善成志也。
貧能養志。
親亦快意。

五。鷹雛匪鸞。不爲鴟鴞。

不爲鴟鴞。亦似宗也。

德非象賢・不辱其先・

六・酒膳紛如・父母頻如・

父母頻如・不養志也・親心莫慰・珍羞弗貴・

上・體完不隱・德備不虧・祖考之輝・

體完德備・終子事也・踐形守身・榮及其親・

祖考・考、成也・父死稱考・言德業完成・死無憾也・猶祖考火相並・燦然光明・如父德業已就・丕顯丕承・

祖考、父也・君爲尊矣・患於不親・母爲親矣・患於不尊・能尊親者・其惟父乎・慈而不訓・失尊之義・訓而不慈・失親之理・慈訓曲全尊親斯備・

初・老牛舐犢・不如燕引其雛・

燕引其雛・教其飛也・玉琢成器・子訓以義・

二・作室無資・勿壞其基・以俟能爲・

作室無資・不可強也・勿壞其基・亦可尚也・

垂範修身。俟我後人。

三。愛馬益粟。肥溢而陸。終不可服。或受之槩。

愛馬益粟。祇益害也。安縱其欲。反益之毒。

四。散而金珠。聚而詩書。賢不喪志。否不益愚。

散而金珠。賢於人也。訓子要道。惟善爲寶。

五。囊金篋玉。不畀之燭。盜守其屋。

不畀之燭。失義誨也。不教以理。金玉弗喜。

六。薪火不滅。貽如聖哲。蕩汝圭執。無疆之慶。

薪火不滅。明有繼也。教子明經。家學繩繩。

上。丹朱商均。利用作賓。

利用作賓。知子明也。

子雖繼緒大任弗予。

Ⅲ范木上之初生。木已長成。新士受制大木。猶以老成師長。模範後生。

X、范師也。天垂日星。聖人象之。地出圖書。聖人則之。漁叟之微。文武是資。郯子之陋。孔子所咨。若之何其無師。

初易子之義。責善是爲。惟嚴之利。

惟嚴之利。人知畏也。

敷教無偏。務濟以嚴。

二。衡不平。繩不直。大斗短尺。民莫之則。

衡不平不足由也。

師無令德。不可爲則。

三。章句之見。授其訓傳。以鍰投鍵。

以鍰投鍵。發蒙也。

句批字析。以啓其識。

四。北指燕。南指楚。惟爾之取。

北燕南楚。使自謀也。

爲寒爲熱・熟視其轍・

五・準矩繩規・衆法攸資・

準矩繩規・先自修也・

師範各正・弟子惟命・

六・投璧於闇・或按之劍・

投璧於闇・人不見也・

責善非人・反致猜猜・

上・聖作六經・萬世典型・如見其人・

萬世典型・言作訓也・

立言極至・師於萬世・

㗊徒㗊煆井金・不經煆鍊・未能成器・㗊徒㗊猶初爲門徒・未經師教者・

徒・衆也・薪以續火・益之愈光・江漢承流・達於遐方・顏閔博業・聖道以彰・

初・出門擇術・跬步之失・晉而學・

出門擇術・愼所從也・

師以終身擇術擇人・

二．巧心妙手．木不雕朽，
木不雕朽．其質陋也．
玉質金相．追琢其章．
三．虎豹之能．千人莫當．不可服箱．
不可服箱．不可馴也．
剛如虎豹．不可服教．
四．驊騮騏驥．造父授轡．一日千里．
一日千里．天本異也．
品高師良．相得益彰．
五．中人不惰．可以寡過．
中人不惰．志務學也．
將勤補拙．質靡優劣．
六．橈木之曲．惟林之辱．爲輪轉轂，
曲木爲輪．性可揉也．
品雖蠢純．造就因人．

上。仲尼之道三。傳習以克永世。三者知仁勇。

以克永世。道大明也。聖道之入。不外時習。

乂醜。醜、類也。金藉土生。猶人必資於友。

醜、友也。天地相友。萬彙以生。日月相友。羣倫以明。風雨相友。草木以榮。君子相友。道德以成。

初。素絲皦如。適緇適朱。

適緇適朱。惟所擇也。交遊宜檢。隨人所染。

二。意氣相許。不以利取。

取不以利。能擇交也。交崇道義。何知勢利。

三。水石相親。石潔水清。蓬麻共植。惟蓬亦直。

惟蓬亦直。近賢也。友正直。交則受益。

四。總角綢繆。膠而漆投。半涂分流。注矢操矛。

注矢操矛反相賊也
有始無終
交道之凶
五春耕秋穫易力並作游惰勿諾
游惰勿諾不如已也
可者相與
不可則拒
六毛羣羽聚糧食之蟲
糧食之蟲無所益也
酒食之流
禽獸之儔
上一首三尾先完後毀惟初之皋
惟初之皋不早識也
一口兩面
須防其變
丁隸、附也凡屬於其主者皆謂之隸金生
山隸水故水隸於金猶君豢臣臣隸于君
隸臣也地不天不能以生月不日不能以光臣不君不能以功
初木養其材工則剭之玉潛於石人則琢之
木養其材以待用也

養器待時。
不求不私。

二。玉馬金牛。惟邦之寶。

玉馬金牛。專所奉也。
賢爲邦基。
尊敬勿弛。

三。一身三首。蜂蟻所醜。

一身三首。無所容也。
蟲猶有王。
二心必亡。

四。登邛而俛。置膝而遠。百福簡簡。

登邛而俛。不自崇也。
愈高愈斂。
福長禍免。

五。股肱綴體。沒身不改。

股肱不改。知所從也。
登朝委贄。
終身無二。

六。顏載其勞。口揚其高。挾恩以驕。或俾之刀。
或俾之刀。怙其庸也。

恬寵誇功。
自取其凶。

上。秋穀既收。土田之休。
穀收田休。不敢處功也。
功成則退。
須卑其晦。

Ⅱ林君德之盛。智勇兼備。輔以行仁。
Ⅲ林金德能斷。火德能明。有君象焉。

林、君也。三人無主。不能共處。一人元良。萬國以康。厥德惟何。仁武及明。叶芒備其蕃昌。缺則衰亡。夫民之所資者、道也。不可斯須去也。是以君臣相與議於朝。師友相與講於野。然後道存而國可治也。

初。赤子之命。在厥生初。
赤子初生。性命係也。
天下生民。
命在一人。

二。循迹不失。無喪無得。
循迹不失。亦足繼也。
率由舊章。
庶保平康。

三。奸賞忠誅。臧違否依。首足顛施。
奸賞忠誅。庶事戾也。

顚倒乖戾・大壞國計・

四．巨舟峨峨．濟於洪波．

巨舟峨峨．賴賢以濟也．

作楫惟賢・可以濟川・

五．鑑無光．斧無銓．股肱不從．惟身之殃．

光銓之無．下不使也．

不明不斷・抗命誰怨・

六．天日昭如．榱柱森如．忠進奸誅．

天日昭如．明無蔽也．

剛明整肅・四海臣服・

上．日中而移．山高而危．大人克中．

日中而移．不可不戒也．

居高思危・允執中而・

Ⅶ　大木垂蔭・副究以斤、時引日雨・

Ⅷ　禋暄濶其根・猶人報德・肅列明禋・

禋、祀也．豺知祭獸．獺知祭魚．忘先背本．傲忽狂愚．明而人責，幽則鬼誅．

初。聖人知幽明之故。死生之說。鬼神之情狀。祭祀之設。非虛文也。功德之報。情文兼到。

二。謂祖無知。謂天可欺。謂祭何爲。謂祭何爲。心徹息也。蔑視鬼神。不智不仁。

三。豺獺之鑑霜露之思。無失其時。無失其時。不忘本也。祭祀及時。恩誼所宜。

四。匪隆匪殺。惟義所在。惟義所在。務適宜也。敬無低昂。禮取其常。

五。繭栗之角。瓦登匏爵。上帝是享。繭栗之角。誠不必豐也。物難報功。惟以誠通。

六．弗播爾穀．弗攻爾木．祀淫祭瀆．

祀淫祭瀆．佞神也．

德不足．分不屬．祭則瀆．

上．學匪干祿．祭匪求福．果時則熟．

果時則熟．理必至也．

雝雝喈喈．祭貝受福．

皿物生既盛．秋金肅之．民氣易盈．立法束之．天運王法．

皿準各有準則．又四九合體．一生一成．適如注水取平之準．

準．法也．爲農無法．黍稷不生．爲工無法．器用不成．御衆無法．資敵喪兵．治國無法．長亂殃民．

初．堇荼之萌．惡不可恣也．

治惡于微．蔓則不治．

堇荼之萌．薙則不榮．燎火焚焚．沃不盡瓶．

二．瞽夫執鉦．蘭艾同制．上罔下罣．獸駭而突．

獸駭而突．窮則悖也．

玉石俱焚．戒自聖人．

三．罔密而轍．徽逃觚繫．不如其棄．

徹逃魚槃制小失大也
法網之張必提其綱
四擒虎於穴百獸戰栗罔目甚闊冒不可脫
擒虎於穴懾暴戾也
首擒大孽紓疎亦懾
五槃水之盈少偏必傾庭燎之明繼其薪蒸
槃水之盈偏則敗也庭燎繼薪明不可息也
立法求平時爲修明
六稂莠之鉏去物害也嘉穀扶疎
凶頑既治善人得志
上驅蠅去飯毋使汚案逐之勿遠
驅蠅去飯不足追臯也
作奸犯科小過勿苛
十一資窮金得土生其出不窮爲人所資

資用也。何以臨人、曰位。何以聚民、曰財。有位無財。斯民不來。所以洪範八政。食貨爲先。天子四民。農商居半。

初。衣食貨賂。生養之具。爭怨之府。

爭怨之府。當義治也。

利皆同欲。義取勿黷。

二。子贏父單。不憂饑寒。

子贏父單。厚於民也。不憂饑寒。必相養也。

藏富於民。君不獨貧。

三。務其耕桑。尊農卑商。疏原洎委。上下均利。

尊農卑商。明本末也。疏原道委。通上下也。

生財有方。上下穰穰。

四。山童澤涸。今笑後哭。

山童澤涸。其利窮也。

天怨人怒。不敗何故。

五。隋璞之富。或興或仆。

或興或仆．道不同也．
隆替無常．得道者長．
六．大盈藏金．鄙夫之心．
鄙夫之心．私積財也．
象齒焚身．尺璧非珍．
上．勤約成風．人不困窮．
勤約成風．身先之也．
苟子不欲．移風易俗．
一冊賓河圖四九居西．西、賓位也．金生之水．流動不居．猶之賓不長住．
、賓．客也．君臣燕飲．有主有賓．諸侯朝聘．天子之賓．四夷朝貢．中國之賓．所以周官設行人之職．行葦歌序賓之禮．
初．賓擇主人．有禮則親．
賓擇有禮．主宜謹也．
禮有情文．無則不親．
二三十輻．共一轂．天子雍雍．四門穆穆．

四門穆穆無離心也。人本無私。有道則歸。

三蔑其途拒其戶四鄰攻之莫之或助。

蔑途拒戶不與物交也。絕交獨處。誰其應女。

四重禮輕幣遠人畢至。

重禮輕幣不爲利也。修禮而至。多儀勿計。

五伯父伯舅惟賓惟友禮循其舊。

禮循其舊固有制也。禮循舊制。心不挾貴。

六秦帝按劒諸侯西馳面服心違。

面服心違威劫之也。以勢脅人。尊而不親。

上東鄰無客西鄰之集。

西鄰之集亦可畏也

晉用楚材・國是以衰・

戰者秋金爲肅殺之氣・兵金又刀劍之屬・金得火烁而成兵器・有戒備不虞・義戡禍亂之象・

戰兵也天生五材民並用之缺一不可孰能去兵倘憂生患何以止亂所以樂有舞干燕有射飲佩劒即禦敵之具井田寓營陣之法

初不利爲寇利禦寇

利用禦寇以自衛也

兵以自衛・逞威則斃・

二利劒在手不敢飲酒

不敢飲酒知戒愼也

手執重柄・自防亂性・

三兵由貪忿民殫國燼

民殫國燼終自焚也

逞忿貪謀・覆亡之由・

四節制之兵有死無奔

兵死不奔。有節制也。
（恩明義美。兵能效死。）
五。公孫建議禁挾弓矢。公孫之議。不窮理也。
（國無兵備。不謀大計。）
六。伐亂除凶。修國省躬。修國省躬。以正人也。
（德化兢兢。無爲作兵。）
上。戢戈櫜矢。憂患方始。憂患方始。戒不虞也。
（文教武功。偏廢則凶。）
Ⅲ。斀斤斲木。可使戎器。
Ⅲ。斀條令教人。可使就理。
斀教也。木有材。工則斲之。民有性。君則教之。生之者天。教之者人。教化既美。習俗乃成。習俗既成。運數莫奪。越千百年。流風不絕。初。去母從父。得其途路。

得其途路。知方向也。向背所宜。務先教之。

二。虎狼養子。教之搏噬。秦人以彆。秦人以彆。不由義訓也。教子不仁。禍及乃身。

三。建其師。立其規。執其笞。建其師。擇師長也。立其規。示軌物也。執其笞。弼以刑也。建師立規。刑以佐之。

四。光武厲俗。幾亡畏縗。厲同癘。畏同麼。光武厲俗。尚名節也。卓哉子陵。聞風而興。

五。直木不令。其影自正。其影自正。身先之也。己正人正。教不待令。

六。飽食嘻嘻。禽犢之肥。

飽食嘻嘻。逸居無教也。
禮義不知。不死何爲。
上。契敷五教。黎民時雍。比戶可封。
比戶可封。惡人盡也。
比戶可封。非敎何從。
冊冊 金德配義。以義正民。猶以金制物。幹其中、則彼此聯屬。束其外、則永無乖離。兩金並列。治具燦陳之象。
乂、治也。農夫治地。種植耘除。王者治國。慶賞刑誅。衆而不治。其國無制。無制之國。其民作慝。
初。斧斤椓器。必先就礪。
斧斤就礪。先自治也。
理先自治。法從身制。
二。政令苛碎。遺大得細。上勞下敝。
上勞下敝。不知要也。
治不知要。日見滋擾。
三。卑人爲主。喪其資斧。
喪其資斧。任匪人也。

小人專政・治失其柄・

四・欲綱之張・引其綱・欲絲之治・振其紀・綱張紀治・舉賢愚從也・
挈領提綱・綱舉目張・

五・量形制衣・可用爲儀・量形制衣・不好大也・
制治相時・務在得宜・

六・網闊而疎・蝤蝦其逋・利以得魚・利以得魚・得民也・
治不煩苛・百姓離和・

上・熊魚科斗・惟萃于首・惟萃于首・不續終也・
有始無終・徒勞無功・

十・績萬物之生・不離乎土・兩土相並・博也厚也・功莫大焉・

十績、功也・事不見功・何以爲終・務擧不在多・能以道成爲功・用兵不在多・能以亂靜爲功・是故物成秋冬・天

地之功。時底隆平。帝王之功。
初。先春布穀。雖勞不育。忍以待時。若遲若速。
若遲若速。善乘時也。
務乘其勢。不勞智慧。
二。帝王君臣。務在安民。
務在安民。無奇功也。
王道平平。樂利盈盈。
三。六子奮庸。萬物以豐。天地之功。
天地之功。不自爲也。
大化彌綸。功歸任人。
四。有鱣悅珠。人口之腴。
有鱣悅珠。非其人也。人口之腴。祇取禍也。
量力度德。聞于四國。
五。項羽日勝而亡。高祖日敗而王。
日敗而王。善要終也。

有德立功・必成於終・

六・生事要功・利己夸庸・

生事要功・好作爲也・

生事利己・有功弗喜・

上・漢宮算效・優於孝文・日漓我淳・

日漓我淳・潛有損也・

法中有仁・否則漓淳・

十一育・土能蓄水・水深廣而滋生愈蕃・水能潤土・土潤澤而生植益盛・有萬物長養之象・

育、養也・天地生物・人資以養・君一其法・人得其養・是故夫人稱養於母・幼養於父・終身養於天地人君・

初・井渫勿幕・遐邇之汲・

遐邇之汲・養而不窮也・

清德在躬・利澤無窮・

二・芻我黃牛・以耕則收・婦子無憂・

芻我黃牛・養賢也・

祿養惟賢・王道平平・

三．赤子啼饑．觀我朶頤．載矜載嗤．
載矜載嗤．莫之恤也．
憂樂天下．惟大人者．
四．吐哺伺兒．母瘠子肥．母心之嘻．
母瘠子肥．損上益下也．
瘠己肥民．大君之仁．
五．燕雀之黨．自育自養．解而羅網．
解而羅網．勿擾之也．
人各一方．毋或擾攘．
六．發廩移粟．東歌西哭．
東歌西哭．不偏及也．
補偏救敝．不識本計．
上．井田之行．何富何貧．萬國之均．
萬國之均．大成也．
任官爲賢．澤同井田．

日　率土火光・顯燦煌煌・有人
十　聲思近光、名播八方之象・

聲、名也．無其實．聲不溢．無其聲．人不聞．聲溢而崇．德之所以終．人聞而廣．業之所以始．故曰．善不積不足
以成名．又曰．三代之王．必先令聞．

初．擊磬撞鐘．或清或洪．

或清或洪．聲從實也．
頌德歌功・實大聲宏・

二．愼守閫身．勿爲鴞鳴．

勿爲鴞鳴．無惡聲也．
戰戰兢兢・無召惡名・

三．蔽葉之雕．其鳴嘵嘵．蜚鳥之招．

蜚鳥之招．聲致殃也．
小人好名・自害其生・

四．空谷來風．有聲溯溯．

有聲溯溯．匪求之也．
實至名歸・匪我所思・

五。鬼笑梁上。弗見其象。人莫之享。弗見其象。無實也。（無實可徵。沒世無名。）

六。匪雷匪霆。四方之聞。蟄者思亨。蟄者思亨。求自奮也。（惠相夷清。聞者振興。）

上。金聲玉振。始終惟令。始終惟令。不寢消也。（功高德隆。令名有終。）

川。厚土生嫩木。勢日增高。有興象焉。

十。興興起也。仆而後起。衰而更興。前王之澤。後王之能。

初。選馬修輿。審所寄也。選馬修輿。辨道徐驅。（擇人整飭。守正不迫。）

二。大饗無饔。撤木無功。有初無終。喪其故宮。

大饗無饗力不副志也。浮騖振興。勞而無成。

三。澣垢縫裂。搭欹補缺。澣垢縫裂。且可衣也。隨力始終。或奏微功。

四。病危得醫。醫器敝得匠。病危得醫。佐以明智也。中興得人。業可重新。

五。楩有枒裁。或爲棟材。糞出於灰。可以焚萊。裁當作栽。枒裁爲棟。天才異也。出類之英。動則有成。

六。困亂而憩。望遠而唏。望遠而唏。志力憊也。志昏氣惰。得焉者寡。

上。總轡操箠。左右在己。

總轄在己，執興替也。
興替由我，振奮勿惰。
仙十痛土能生金，掘鑿不息，地脈傷矣，民可供億，悉索不休，民力疲矣，物可娛情，過而無節，百病生矣，痛病也。官病於上，民病於下，國以淩夷。初外強中懈，恃而不戒，外強中懈，覺所從也。
中病乃懈，早防其壞。
二，祛寒得熱，金石之孽。祛寒得熱，失中節也。
治病不良，舍虎得狼。
三，齒拔兒傷，治體得亡。治體得亡，其醫庸也。
投鼠忌器，勿壞本計。
四，固本以靜，防微以愼，天不能病，天不能病，自治詳也。

固本防微。預絕禍幾。

五。弗益弗擊。輔根引日。以俟閃術。

輔根引日。未失也。力作需人。且培其根。

六。其亡其亡。劑審其方。醫用其良。

其亡其亡。敬愼不敗也。救弊兢兢。審術任能。

上。膏肓不治。世無良醫。

膏肓之疾。不可如何也。諱疾忌醫。疾無已時。

十丁泯滅也。焚出於灰。噓之實難。火燎于原。滅之則易。是故周之興也。十五王而不足。及其滅也。一褒姒而有餘。可不戒懼乎哉。

泯。育泯皆水土合體。廿一陰一陽交合。有相生之義。故爲育。廿皆陰。主閉塞。厚土闉塞。支流遂絕。故爲泯。

初。蜩鳴于林。綻衣絮衾。

蜩鳴絮衾。宜早防也。

幾兆之萌。禍用以生。

二。徵子前見。商祀不殄。其紹如綫。

徵子之祀。重存商也。先愼其徵。君子知幾。

三。緡自竇亡。乃生少康。

夏之不泯。得少康也。保娠存軀。志續皇圖。

四。躬顚血絕。廟夷龍滅。

躬顚血絕。誠可傷也。身亡國滅。自作之孽。

五。奧志蹙躬。惟連之從。

奧志蹙躬。無以攘也。不思振作。其勢必落。

六。水厭其原。木剿其根。波高葉繁。目昧心昏。

水厭其原。何可長也。

自斷根原。何以安身。

上。前車已覆。瞻彼社屋。

前車之覆。後所懲也。用鑒前兇。勿步其蹤。

丅丨丅造。丨丅皆水。丨爲元。丌爲造者。丨生數之始。元氣初開。作事初舉時也。丅成數之始。正當造作時也。

造、始也。雲雷方屯。開乾闢坤。肇有父子。始立君臣。倡之者聖。和之者賢。爲之者人。成之者天。

初。太虛測冥。開乾闢坤。萬有咸敍。實惟其人。

萬有咸敍。人所爲也。開物成務。惟聖所作。

二。舜禹之禪。湯武之戰。天心人願。

天心人願。非利之也。禪戰皆義。不爲名利。

三。用不擇術。功偕惡積。成艱毀疾。

成艱毀疾。不由德也。作事不正。爲身之病。

四。依仁附義。乘時順理。誅暴誅奸。利物利己。能利乎物。實自利也。順理隨時。造作咸宜。

五。量時度力。田作方一。規模可則。規模可則。不自棄也。審可量力。可保無失。

六。方春不犁。洎秋而饑。婦子啼悲。洎秋而饑。失時極也。舍業而嬉。後必啼悲。

上。立德建名。惟天之命。而贊之成。否則禍生。立德建名。惟天所命也。順承天命。勿蹈陷阱。

Ⅱ、Ⅰ隆。Ⅰ、水之盛。Ⅱ、火之盛。故名隆。然水盛易溢。火盛易燎。必須戒滿防災。

隆、盛也。一陽之進。必盛於夏。是謂隆暑。陰則生矣。一陰之進。必底於寒。是謂隆冬。陽亦形焉。是故王者之業。必極盈成。盈成之時。必貴持守。可不念哉。

初其憂其勤日升於雲

其憂其勤明日進也（德日日新起於憂勤）

二百體四支勿增勿虧守之以祇體支已完勿增損也善守其成惟能謹也（規模已成勿妄變更）

三酒肉如陵鐘鼓盈庭鑠小墮城鑠小窳城守備盡也（縱欲敗度成業可懼）

四視舟之濡室之用枻視舟之濡慮患於謹也（日省其愆惕以乾乾）

五暑至陰生寒極陽萌君子畏盈小人怙成小人怙成危逼近也（盈常恐傾蘗防其萌）

六盛不亡衰安不亡危一日萬幾萬事之微不可不愼也
保泰持盈戰戰兢兢

上累土匪易勿虧一簣一簣未成虧九仞也
必止至善有終勿倦

丗丁散水生木木日盛水氣耗散矣

散消也氣散而竭族散而絕民散而滅初散弓之弭益漆與膠結以禮信也
人心將離恩義固之

二心德之離微子去之微子去之親戚離也
時莫可爲衆畔親離

三守業兢兢朝露春冰

朝露春冰。雖凝易泮也。
人心易散。
兢業勿玩。
四。倒廩虛庫。財散人聚。
倒廩虛庫。知所散也。
重義輕財。
近悅遠來。
五。雰闇血星。離潰而平。盜棄其兵。
盜棄其兵。禍亂釋也。
精動畏憚。
禍亂皆散。
六。積沙防水。水至沙潰。
水至沙潰。不固結也。
徒志富强。
猶築沙防。
上。長夜之宴。雖久必散。達者先見。
達者先見。明始終也。
佚樂無憂。
達者先愁。
金生水。水又遞生。五行常有餘不盡。論散與餘。五行皆有此。特就名圖歲終之水運言之。乃剝而將復時也。

餘、終也，天過其度，日之餘也。朔不滿氣，月之餘也。日不復次，歲之餘也。功德垂後，聖賢之餘也。是故天地無餘，則不能變化矣。聖賢無餘，則光澤不遠矣。

堯舜之德，禹稷之績，周規孔式，終天無斁。

堯舜周孔，垂世無窮也。

功德垂流，萬載千秋。

XX齊

河圖五土居中，以、合體中之象也。即太極圖中一圈，其萬事萬物之根柢乎。

、齊、中也。凡物得中則均齊方正，不中則參差不齊，中者其理，齊者其形也。

陰陽不中，則物不生。血氣不中，則體不平。剛柔不中，則德不成。寬猛不中，則政不行。中之用，其至矣乎。

衆星拱極，萬矢湊的，必不可易。

衆星萬矢，誰能易中也。

道惟中，萬物皆同。

潛虛述義卷四

命圖

天木案。命者、一定之理數。事有得失。卦爻之吉臧平否凶應焉。其圖、參錯爻位。以就吉臧平否凶之例。每五卦爲一局。吉爻以六五四三二爲序。其後每局爻位與首局同。行圖爻辭已分吉臧平否凶。此更欲其易見耳。

	吉	臧	平	否	凶
裒	六	四	二	五	三
柔	五	四	三	六	二
剛	四	六	五	二	三
雜	三	二	五	六	四
昧	二	四	五	六	三
昭	六	四	二	五	三
容	五	四	三	六	二
言	四	六	五	二	三

虛	三	二	四	五	五	六	四	三	四
聆	二	四	四	五	六	二	六	二	三
覿	四	四	四	二	五	六	五	三	二
繇	五	四	四	三	二	五	六	二	三
懠	四	六	二	六	五	六	二	三	四
得	三	二	四	五	五	六	六	四	三
罹	二	四	四	五	五	六	六	三	二
淈	六	四	四	三	二	五	五	二	三
荐	五	四	四	三	二	六	五	二	三
卻	四	六	二	六	二	六	二	三	四
庸	三	二	四	五	五	六	六	三	三
妥	二	四	四	四	二	六	五	二	三
蠢	六	四	四	三	二	五	五	二	三
訒	五	三	二	五	五	五	三	二	五
宜	四	五	六	二	三	四	五	六	四

沈	喆	戛	特	偶	矇	續	考	范	徒	醜	隸	林	禋	準
三	二	六	五	四	三	二	六	五	四	三	二	六	五	四
二	四	四	四	六	二	四	四	四	六	二	四	四	四	六
五	五	二	三	五	五	五	二	三	五	五	五	二	三	五
六	六	五	六	二	六	五	六	六	二	六	六	五	六	二
四	三	三	二	三	四	三	三	二	三	四	三	三	二	三

資　三　二　五　六　四
賓　二　四　五　六　三
帝　六　四　二　五　三
斃　五　四　三　六　二
乂　四　六　二　四　三
績　三　二　五　六　四
育　二　四　五　六　三
聲　六　四　二　五　三
興　五　四　六　二　二
痛　四　六　二　六　三
泯　三　二　五　六　四
造　二　四　五　六　三
隆　六　四　二　五　三
散　五　四　三　六　二

元、餘、齊三者無變。皆不占。三卦泛言道理。如筮得此。其理已見。倘欲判後事吉凶。則再筮。

初上者、事之始終。亦不占。不以決吉凶。五行相乘。得

二十五、又以三才乘之、得七十五以爲實。虛其五（象五行不用）而用七十、分而爲二（象兩儀）、取左之一以掛於右（象閏月）、揲左以十（準天地之數）而觀其餘、置而扐之（置所已揲者於案）、而扐所餘之策（已揲未揲）、著左手無名指間、以爲左歸（歸之策）、爲一而再分之、掛揲其右、皆如左法（以爲右體、○各紀其數於左右、如名圖所列之卦體）。左爲主右爲客（此左右以揲成左右之卦象言、左象爲主、屬我、右象爲客、屬他人及事物）。先主後客者陽、先客後主者陰（此主客並帶左右言、謂左體之主、右體之客也、本於圖左少右多之卦象來、此陰陽亦以體圖左陽右陰之位言、蓋天地之道、左陽而右陰、卦象先揲得數少而後得數多者爲陽、以體圖之數少者原在左之陽位也、先揲得數多而後得數少者爲陰、以體圖之數多者原在右之陰位也、此雖合先後兩體言、而以先得者爲根柢、爲占者言也、○此不以奇偶分陰陽者、以先得之主數（各數皆有奇偶）、如以奇偶分、則先得之偶數、不可以爲陽矣、○其先得少數之主爲陽者、如性圖之象與體圖易位者十卦、是也、所以下云陽用其顯、陰用其幽、幽者、與顯戾也、正因此十卦、與體圖之左少右多者相戾也）。觀其所合（左右合體也）、以名命之、既得其名（知爲某卦）、又合蓍而復分之、陽則置右而揲左、陰則置左而揲右（先得少者爲陽卦、先得多者爲陰卦）。生純Ⅱ等、置右成純Ⅱ等、置左揲之以七（象每卦七爻）、所揲之餘爲所得之變（以其爻占）。觀其吉凶臧否平否而決之（吉臧平否凶、顯列成局者、用以占也）。陽則用其顯、陰則用其幽、幽者吉凶臧否與顯戾也（戾、相反也、言吉而凶、凶而吉、所用之爻、與顯相反也）。欲知始終中者、以所筮之時占之（兼四時及本日占時、視其生尅所占之卦象、以定吉凶之大小）。變（通指七爻）。己主其大矣、又有吉凶臧否平者、於變之中、復爲細別也、不信不筮、不疑不筮、不正不筮（非理之事）、不順不筮（理雖正而于尊卑上下之分不順）、不蠲不誠、不誠不筮、必蠲必誠、神靈是聽。

天木案、占法固以辭斷、而卦象又寓元機、觀卦象所屬五行、即作其人其事、左聽爲我、右體爲他人爲事物、先看左體之五氣、分別其原委、焚爻本末、卄亦基家、以定在己本來氣力之強弱、再看右體

之於左體生尅扶洩有力無力以審在己當局力量之加減又以左體而定右體生尅扶洩之所屬以論其何方何人於我損益又看左右彼我之得令失令受太歲月建日辰之生尅以定吉凶大小之加減此觀象之法原具於六圖及所論主客占時之中至於分別日期道里之遠近性情相貌物類之美惡形體之方員曲直大小短長新故死活顏色氣味聲音之若何數目之多少臟腑脈候之盛衰和平則合易與諸經而斷之

又案原文所言占法自不可易竊欲從者簡便祇用五策以象五行策削五面每策之腰各平其稜復爲五面取其正面仰上二策分寫一𝌆𝌆陽數以象天二策分寫一𝌆𝌆陰數以象地一策分寫二三四五六爻數以象人事之變筮時焚香致敬祝曰二氣五行周流六虛洪纖顯晦鬼神與俱某以某事吉凶得失悔吝憂虞中心眩惑未知所趨何去何從爲悲爲愉敬質神靈尙明告諸祝畢先捧天地四策信手搖下一策觀其正面仰上何數以爲左體次又搖下一策以爲右體卦體既成乃捧象人一策搖下以求其變動之爻觀其爻辭而吉臧平否凶決矣

又案有將虛遁易之法用先天乾一兌二之例以左體之一當三𝌆當三𝌆當三𝌆

又案周易潛虛祇言人事得失以分休咎後世推及五氣衰旺生尅及時地宜忌數目物類等似涉術數家言但理之所在氣數寓焉物象亦寓焉如易言理之書也而潛龍草昧等非言氣乎天一地二等非言數乎言君臣父母丈夫妻妾男女童僕資斧非子父財官乎言牛馬木器布帛非物類乎至爲長爲高爲廣額爲大腹又言形體矣爲寡髮爲多白眼又言多少矣言去故取新又言新故矣言爲黃爲黑爲白爲赤又言顏色矣言心病耳痛又言疾病也言東南得朋西北喪朋又未嘗不言方位也言七日言三歲又未嘗不言日期也今將經傳所言五行屬類條列於后以備占斷

春屬木其蟲鱗其音角其數八其味酸其臭羶其色青其位東其形直其性溫柔好生其干甲乙

寅月日在營室昏參中旦尾中律太簇腑爲膽

卯月日在奎昏弧中旦建星中律夾鍾臟爲肝

辰月日在胃昏七星中旦牽牛中律姑洗臟爲脾

夏屬火其蟲羽其音徵其數七其味苦其臭焦其色赤其位南其形銳其性恭敬好節文其干丙丁

巳月日在畢昏翼中旦婺女中律仲呂腑爲小腸

午月日在東井昏亢中旦危中律蕤賓臟爲心

未月日在柳昏火中旦奎中律林鍾腑爲胃

中央土其蟲倮其音宮律中黃鍾之宮其數五其味甘其臭香其色黃其位中其形方其性好種植

其干戊己。
秋屬金。其蟲毛。其音商。其數九。其味辛。其臭腥。其色白。其位西。其形圓。其性嚴厲決斷。其干庚辛。
申月日在翼。昏建星中。旦畢中。律夷則。肭爲大腸。
酉月日在角。昏牽牛中。旦觜觿中。律南呂。臟爲肺。
戌月日在房。昏虛中。旦柳中。律無射。臟爲脾。
冬屬水。其蟲介。其音羽。其數六。其味鹹。其臭朽。其色黑。其位北。其形曲。其性明智動達。其干壬癸。
亥月日在尾。昏危中。旦七星中。律應鐘。臟爲腎。
子月日在斗。昏東壁中。旦軫中。律黃鐘。臟爲膀胱及命門。
丑月日在婺女。昏婁中。旦氐中。律大呂。肭爲胃。
河圖數曰。占者多用生數。禮記。木火金水。皆用成數。惟土用生數。今當隨卦象。生用生數。成用成數。分別用之。
禮書曰。青赤黃白黑。正色也。碧綠紫縹紅。間色也。甲乙合而爲綠。青黃之雜。木尅土也。丙辛合而爲紅。赤白之雜。火尅金也。乙庚合而爲碧。青白之雜。金尅木也。丁壬合而爲紫。赤黑之雜。水尅火也。戊癸合而爲縹。黃黑之雜。土尅水也。
他若易說卦傳。近取諸身。遠取諸物。及洪範九疇。周官太卜。諸書所載更詳。今不盡載。

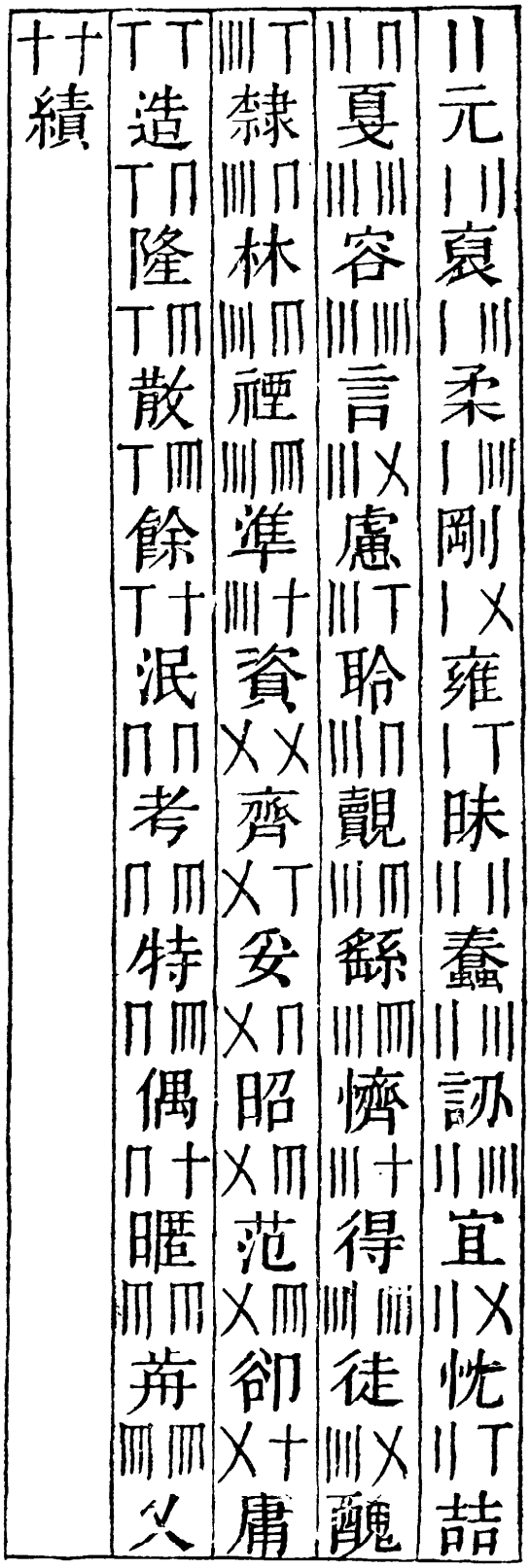
又案經傳所言氣數物類理雖如此然非聖人不能眞知其必然如孔子適陳使弟子持雨具已而果雨弟子問曰夫子何以知之曰詩云月離于畢俾滂沱矣他日月宿畢竟不雨所謂神而明之存乎其人不可爲典要也學者借占決疑仍必以理自裁勿泥於氣數之不可知者然要而論之凡事順理則吉逆理則凶四聖作易溫公作虛皆以神道設教借占以開入道之門使知觀象察理謹小愼微卽可趨吉避凶非徒作卜筮書也人不修德卦吉不應所以南蒯將叛筮得黃裳元吉子服惠伯斷其必敗謂其無卦德也故占必論卦德

書後

元以準易。虛以擬元。元且覆瓿。而況虛乎。其棄必矣。然子雲曰。後世復有揚子雲。必知元。吾於子雲雖未能知。固好之矣。安知後世復無司馬君實乎。

圖象辨

天木案氣圖、五氣之各體。內少而外多。體圖、卦象之合體。左少而右多、性圖與體圖同象者四十五。異者十八。見其異竊疑矯揉。不知各有道理。



右行圖與體性二圖同象者四十五。此屬陽卦。占用其顯。

右行圖與體圖易位．與性圖同象．左多右少者十．此屬陰卦．占用其幽．凡左少右多皆陽卦．左多右少皆陰卦．上所列陰卦十．乃圖中已定者．若占時．則陽卦或有變爲陰．俱用其幽．

附張行成潛虛數義

元包曰。易用七七。四十九策。極少陽也。七爲少陽。包用六六。三十六著。窮老陰也。六爲老陰。明大衍之不可過也。大衍之數五十。是故易元包皆不越五十之數。然而潛虛用七十者何也。曰坤數當百。故十數之衍得百位。易用其半。虛一以象天七之用。元爲地承天而布氣之數。包爲地配天而載物之數。故皆不過乎易數也。虛與包皆爲物數。然包於元者。獨指地之元氣。潛於虛者。兼太極之氣與神。故包名書以元。首卦以坤。而虛名書以虛。首圖以氣也。太極判而生天地。天地交而生萬物。天與其氣以載坤。坤與其形以載氣。是故虛於百數之中。十取其七而用之。在七則體地之十。在十則用天之七。所以體用十數。名用七變。七變爻。而著用七十也。易用七七。而虛一者。存太極也。虛一、象太極。虛用七十。而虛五者。存五氣之元也。象五行。易爲天數。虛爲物數。易體三才六位。虛體五行十數也。虛實用五變者。天之五也。幷始終而七變。則天之盈數也。體用五行之十數者。地之二五也。幷合數而十九。則天地之終數也。體極十九。用極於七。故易初揲之奇。均一爻而七。幷三揲均之。而一爻盡於十九。歸奇者。閏數。是以月行一日之餘。得十九分度之七。而經世動植數聲數每位而七。音數二位而十九也。經世有三數。潛虛得其緒餘二者。則天地之數也。

肇慶府志本傳

蘇天木，字戴一，高要人。乾隆三十三年歲貢生。少與吳式郡同學於新建劉斯組。天木精究宋五子書，至老學益苦。所居老屋數椽，卽臥榻置書几，一孫執爨。注司馬溫公潛虛，病甚猶伏枕點勘。年八十三卒。著有潛虛述義四卷，家訓一卷。

潛虛攷異

性圖

其次降五唐宋叢書潛虛本無此句。

名圖

號通號、叢書作號。淮南子・號通之維・正誤云・當作號・按號義未詳・包斡萬物斡、叢書作幹・繇懠得罹湛情之訧也罹・叢書作厲・按名圖及行圖當作罹・斁理績育聲功之具也理、叢書同・按名圖行圖俱作乂・不知此處何以作理・

行圖

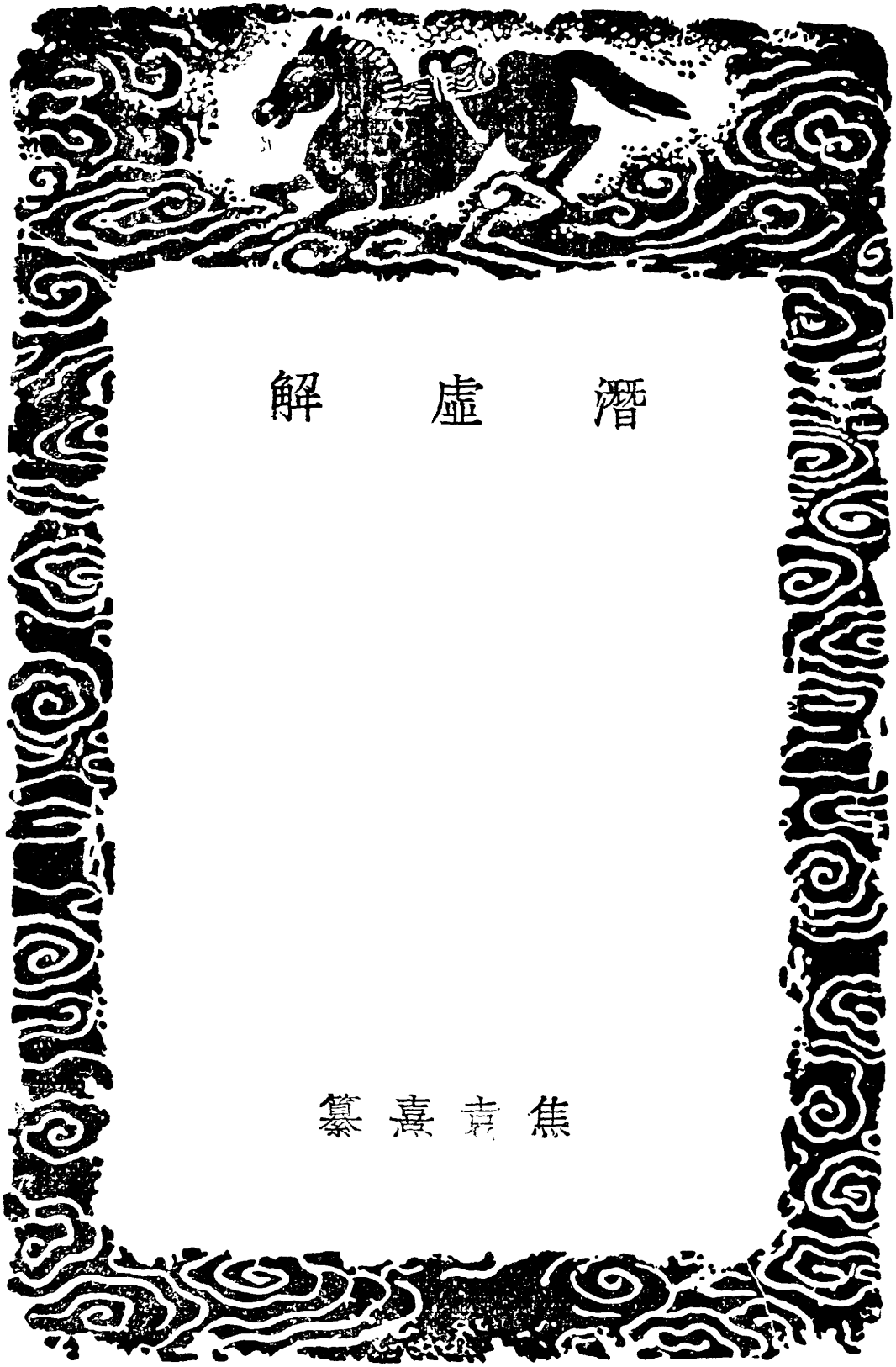
元元始也叢書六句俱有也字・裒善以道羣也羣、叢書作可・剛介然自守介、叢書作潔・中寡慾也中、叢書作由・金精百鍊金精、叢書作精金・雍捐多益寡也叢書作益寡損多也・昭火宿于灰火宿、叢書作宿火・慮切宜愼也叢書作不可愼也・聆是謂耳聽叢書聽旁字同處俱同君子作學者・與下覩卦同・是也・懠拔劍難收劍、叢書作刃・湛其樂也誠叢書此下跳行・云情有七而虛其五何也・人喜斯愛之・怒斯惡之・故喜怒所以兼愛惡也・多此四句・寿遇掉反兵反、叢書作逢・訒斷以誼也訒、叢書作宜・丈人濡足丈、原文及叢書俱作文・當誤・續幼易馴幼、叢書作初・善成志也志、叢書作意・范郯子之陋陋、原文及叢書俱作漏・當誤・徒不可馴也馴、叢書作訓・林大人克中中、叢書作終・禋弗播爾穀叢書兩爾字作而・帝利禦寇利下有用字・與解圖同・斁知方向也方向、叢書作向方・光武厲俗光武・叢書作漢光・比戶可封戶、叢書作屋・乂斧斤椓器斧斤・叢書作刀斧・績用兵不在多能能、叢書作務・忍以待時待、叢書作俟・聲匪害匪匪、叢書作非・捕敬愼不敗也敬、叢書作戒・泥可不戒懼乎哉叢書作可

不懼哉・可
不懼哉・

按唐宋叢書本、行圖橫列三層．首層元始也云云等條爲行圖．二層愼于舉趾差則千里云云等條爲變圖．三層愼于舉趾差則遠也等條爲解圖．

跋

右潛虛述義四卷。宋涑水司馬光君實撰。國朝高要蘇天木載一述。按温公書。四庫全書已著錄。困學紀聞謂潛虛、心學也。以元爲首、心法也。人心其神乎。潛天而天。潛地而地。温公之學。子雲之學也。先天圖皆自中起。萬化萬事生乎心。豈惟先天哉。連山始艮。終而始也。歸藏先坤。闔而闢也。易之乾。太極之動也。元之中。一陽之初也。皆心之體。一心正而萬事正。謹始之義在其中矣。邵子曰。元、其見天地之心乎。愚於虛亦云。虛之元卽乾坤之元。卽春秋之元。一心之妙也。極推重之。顧陳淳譏其所謂虛者。不免於老氏之歸。而提要則謂世無原書久矣。姑以源出於光而存之。要其吉臧平否凶之占。以氣之過不及爲斷。亦不失乎聖賢之旨也。云云。又稱有發微論一卷。張敦實論十篇。今是書無之。又王海稱張行成爲潛虛數義十六卷。章分句析。後截、行成所續不韻。今亦無之。惟末附張行成潛虛數義一則耳。仍有缺佚歟。戴一先生事蹟。具見肇慶府志。所稱老屋數椽。卽臥榻置書几。一孫執爨。註司馬温公潛虛。病甚猶伏枕點勘。卽此書也。詞旨典雅古奧。頗近焦氏易林。深宵叟不韻之譏。吾知免夫。其族孫賡堂給諫出稿本相示。温公之書。已絕鮮單行之本。而是書實足以闡發名理。爰校勘以付梓人。道光庚戌孟夏浴佛日。後學伍崇曜謹跋。



潛虛解

焦竑喜纂

本館據藝海珠塵
本排印初編各叢
書僅有此本

潛虛解

清　焦袁熹纂

揚子雲作太玄以準易。司馬溫公復作潛虛以準玄。溫公自云。吾於子雲。固好之矣。安知後世復無司馬君實乎。愚向未見潛虛。竊意其所以爲書者。必有深奧難知之說。今從啓蒙翼傳外篇中得見此書大略。雖大賢述作。非愚昧所能窺闖其藩牆。然其經營措置之端。初不出於圖書易範之外。則已一望而得之矣。爲訓釋之如左。辛巳十月五日。

一、一也。二、二也。三、三也。四、四也。五、五也。六、六也。七、七也。八、八也。九、九也。十、十也。

一原、水之生數。天一生水也。丁委、水之成數。地六成之也。二焱、火之生數。地二生火也。七成之也。三本、木之生數。天三生木也。八成之也。四生、金之生數。地四生金也。九、金之成數。天九成之也。五生、土之生數。天五生土也。十冢、土之成數。地十成之也。焱從炎從丬。猶室也。炎同焰。火光也。俗作礦。金玉函於石。未冶鍊　也。周禮。掌金玉錫石之地。音其。下基以薦物者。自原至冢五行各二。皆取生成爲義。

一丁居北方坎位。卽河圖之內〇而外﹅也。二丌居南離位。卽圖之內二外七也。三亓居東震位。卽圖之內三外八也。四亖居西兌位。卽圖之內四外九也。五十居中。卽圖之五十也。

元者、始也。裒者、聚也。散者、消也。餘者、終也。終則有始。循環不窮也。齊也者、中也。無在而無不在者也。柔剛雍昧昭性之分也。此以氣質言性也。柔、變友也。剛、彊弗友也。昧、沉潛也。昭、高明也。雍者、正直得中者也。

容言慮聆覿動之官也。即五事也。

繇懠得罹毗情之誡也。繇、喜也。懠、怒也。罹、憂也。哀也。毗、樂也。得者、中節之謂也。

莽卻庸妥蠢事之變也。莽、進也。卻、退也。妥、靜也。蠢、動也。庸、中庸也。

訒宜忱詰憂德之塗也。訒、言之德也。宜、容之德也。忱、信也。慮之德也。詰、通也。聆之德也。憂、法也。覿之德也。

猶言恭從聰容也。

特偶曖續考家之綱也。特偶者、夫婦也。曖者、兄弟也。續者、子孫。考者、父也。舉父以該母。

范徒醜隸林國之紀也。范、司空也。徒、司徒也。醜、司寇也。隸、士也。林、庶人也。此條俟更考之。

禋準資賓戒政之務也。即八政中祀貨食賓師也。

斁乂績肯聲功之具也。

興痛泯造隆業之著也。

報德者、元也。當陽者、亨也。背陽者、利也。蹏通者、貞也。貞下起元之謂也。

水北火南。木東金西。各居其方。而間以四土者。即四季之土也。